

日本評論社・旧社時代出版目録（三・完）

七戸，克彦
九州大学大学院法学研究院：教授

<https://doi.org/10.15017/2534540>

出版情報：法政研究. 86 (2), pp.1-62, 2019-10-17. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

日本評論社・旧社時代出版目録（三・完）

七戸克彦

一 序論	
二 初代社長・茅原茂時代の出版物	
〔表1〕 日本評論社・旧社時代出版目録（一）	以上八五卷二号
三 第二代社長・鈴木利貞時代の出版物	
1 推薦図書以上八六卷二号
2 発禁処分以上八六卷二号
3 G H Q 没収指定図書以上本号
〔表2〕 日本評論社・旧社時代出版目録（二）以上本号

3 G H Q 没収指定図書

前記2戦前の内務省による発禁出版物については、その全容を資料的に解明できない問題があるが、これに対して、戦後の占領下において、連合国最高司令官 (Supreme Commander for the Allied Powers: SCAP) 率いる総司令部 (General Headquarters: GHQ) が行った戦時教化・宣伝用刊行物の没収に関しては、⁽⁹⁶⁾ 全点「官報」で公示されているにもかかわらず、戦前の発禁処分と同様、秘密裏に行われたとの誤った見解が広く流布されている。⁽⁹⁷⁾

そこで、法学の分野ではきわめて初歩的な事項ではあるが、改めて説明を行うならば、連合国軍は日本の占領に關して軍政（直接統治）を行わず、間接統治——あくまでも日本法を根拠に日本の行政機関を通じて行う方法——を採用した。これは、具体的には、G H Q の日本政府に対する要求（指令 (command) あるいは覚書 (memorandum) の表題で通告された）を、日本政府が命令（勅令・閣令・省令）として公布する（≡国内法化する）手法で実施されたが、この手続の根拠規定が、昭和二〇年九月二〇日の二つの勅令（いわゆるポツダム緊急勅令）である。

昭和二〇年九月二〇日勅令第五四二号「『ポツダム』宣言

ノ受諾ニ伴ヒ発スル命令ニ関スル件」

政府ハ「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ連合国最高司令官ノ為ス要求ニ係ル事項ヲ実施スル為特ニ必要アル場合ニ於テハ命令ヲ以テ所要ノ定ヲ為シ及必要ナル罰則ヲ設クルコトヲ得

昭和二〇年九月二〇日勅令第五四三号「昭和二〇年勅令第五四二号（「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ発スル命令ニ関スル件）施行ニ関スル件」

① 昭和二〇年勅令第五四二号ニ於テ命令トハ勅令、閣令又ハ省令トス

② 前項ノ閣令及省令ニ規定スルコトヲ得ル罰ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮、五千円以下ノ罰金、科料及拘留トス
右ノ緊急勅令に基づき、占領終了までに日本政府が公布した命令（勅令・閣令・省令。いわゆるポツダム命令）は五二六に及んだが、その中で書籍没収の根拠法令となったのは、昭和二二年六月一二日公布の次の勅令であった。⁹⁸

昭和二二年六月一二日勅令第三一一号「昭和二〇年勅令第

五四二号ポツダム宣言の受諾に伴ひ発する命令に関する件に基づく連合国占領軍の占領目的に有害なる行為に對する処罰等に関する勅令」（昭和二二年七月一五日施行）

第二条 前条の罪を除く外、占領目的に有害な行為から成る罪に係る事件については、公訴は、これを行は

なければならぬ。

② ……（二項略）……

③ この勅令において、占領目的に有害な行為といふのは、連合国最高司令官の日本帝国政府に対する指令の趣旨に反する行為、その指令を施行するために、連合国占領軍の軍、軍団又は師団の各司令官の発する命令の趣旨に反する行為及びその指令を履行するために、日本帝国政府の発する法令に違反する行為をいふのである。

二条三項の説明にもかかわらず、「占領目的に有害な行為」の概念は、あまりにも漠然として広汎であり、そのため勅令第三一一号は空前絶後の白地刑罰法規と批判されたが、この点に関してはGHQと日本政府も気にしたようである。昭和二二年八月二三日「官報」（五八八三号一五六頁「彙報」）には、次のような記事が掲載されている。

○官庁事項

◎昭和二二年勅令第三一一号に関する件 昭和二二年勅令第三一一号（連合国占領軍の占領目的に有害なる行為に對する処罰等に関する勅令）施行につき国民の知らなければならぬ連合国最高司令官の発した指令に関する件

右勅令は昭和二二年六月一二日公布され同年七月一五日よ

り施行せられたについて右施行以前発せられた連合国最高司令官の日本政府に対する指令のうちで広く一般国民がその内容を知り違反をせぬやう注意しなければならぬものにつき、以下其日本訳を発表する。

尚ほ発表の準備が出来次第順次に追加発表を行ふ。

又連合国最高司令官の指令を施行するために連合国占領軍の軍、軍団又は師団の各司令官の発した命令で、その内容を国民に知って貰はねばならぬものの中、第八軍司令官の命令は官報に、その他は各関係地域の府県令に発表がある予定である。(終戦連絡中央事務局)

かくして勅令第三二一条を根拠に国内法化される要求(指令・覚書)のうち「広く一般国民がその内容を知り違反をせぬやう注意しなければならぬもの」については、その翻訳が官報または府県令で公示されることとなった。

一方、勅令第三二一条を根拠に国内法化されたGHQの「有害」出版物の没収に関する要求(指令・覚書)は、昭和二十二年三月一七日付の「覚書」(Memorandum AG 3117 (17 Mar. 46) CI (SCAPIN-824): CONFISCATION OF PROPAGANDA PUBLICATIONS 1946/03/17) ぶ、その翻訳は、同年一〇月二日の「官報」(五九一六号一二頁「彙報」)に掲載された。

○官庁事項

◎昭和二十二年勅令第三二一号に関する件(八月二三日本欄参照)

昭和二十二年三月一七日

覚書宛先 日本政府

経 由 終戦連絡中央事務局

発信者 連合国最高司令官

件 名 宣伝用出版物の没収に関する件

一、日本政府は次に列挙せられる宣伝用出版物を多量に保有する倉庫、書店、書籍取扱店、出版会社、配給会社及び総ての商業施設又は日本政府諸官庁等一切の個人以外の筋より次の出版物を蒐集することを命令せられる。

……(書名A〜J(一〇点)略)……

二、右各出版物は蒐集せられた上中央の倉庫に保管せらるること、此等出版物をバルブに再製する為の処置に関しては追て本司令部より指示せらる。

三、本年三月三十一日を初として毎月一五日及末日定期報告を連合軍最高司令部に提出すること、右報告には次の各事項を含むものとする。

- a、該期間に期間に蒐集せられた出版物の名称並びに数量
- b、蒐集場所及各出所毎に蒐集された出版物の名称並びに数量

c、出版物の総数量

d、総重量

e、特定の保管場所

四、個人の家庭又は図書館に於ける茲の出版物は本指令の措置より除外される。

この覚書は、その後「追加」第四六号まで発出されており、右「官報」は、三月一七日覚書本編の翻訳に続けて、追加第一号〜第七号の翻訳を掲記している。

以下、すべての追加につき「官報」の掲載個所を示しておく。

- 〔追1〕昭和二年三月二七日付覚書追加第一号（六点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号二二頁（和文）
- 〔追2〕昭和二年四月一五日付覚書追加第二号（一九点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号二二頁（和文）
- 〔追3〕昭和二年四月三〇日付覚書追加第三号（二六点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号二二頁（和文）
- 〔追4〕昭和二年五月一七日付覚書追加第四号（二四点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追5〕昭和二年五月三一日付覚書追加第五号（二一点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追6〕昭和二年六月一〇日付覚書追加第六号（二一点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追7〕昭和二年七月一日付覚書追加第七号（五一点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追8〕昭和二年七月三一日付覚書追加第八号（一六点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追9〕昭和二年八月一五日付覚書追加第九号（三八点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追10〕昭和二年八月三一日付覚書追加第一〇号（一五一点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追11〕昭和二年一〇月二日付覚書追加第一一号（四点+奏譜一三点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追12〕昭和二年一〇月三一日付覚書追加第一二号（二二点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追13〕昭和二年二月二日付覚書追加第一三号（四一点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追14〕昭和二年二月一七日付覚書追加第一四号（二〇点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）
- 〔追15〕昭和二年二月三一日付覚書追加第一五号（二七点）
 ……昭和二年一〇月二日官報五九一六号一三頁（和文）

- ……昭和二年一月三日官報六〇〇六号一〇三頁(英文)・一〇四頁(和文)
- 〔追16〕昭和二年一月二七日付覚書追加第一六号(六〇点)
……昭和二年二月二日官報六〇二二号五七頁(英文)・五九頁(和文)
- 〔追17〕昭和二年二月三日付覚書追加第一七号(二四四点)
……昭和二年二月二六日官報六〇三四号一五四頁(英文)・一五五頁(和文)
- 〔追18〕昭和二年二月二五日付覚書追加第一八号(三一点)
……昭和二年三月一日官報六〇四五号六二頁(英文)・六三頁(和文)
- 〔追19〕昭和二年三月一日付覚書追加第一九号(五八八点)
……昭和二年三月二四日官報六〇五五号一四七頁(英文)・一四九頁(和文)
- 〔追20〕昭和二年三月二七日付覚書追加第二〇号(二八八点)
……昭和二年四月二五日官報六〇八二号二五四頁(英文)・二五五頁(和文)
- 〔追21〕昭和二年四月一日付覚書追加第二一号(三九九点)
……昭和二年五月九日官報六〇九二号七四頁(英文)・七五頁(和文)
- 〔追22〕昭和二年四月二七日付覚書追加第二二号(五六点)
- ……昭和二年五月二二日官報六一〇三号一六二頁(英文)・一六三頁(和文)
- 〔追23〕昭和二年五月一日付覚書追加第二三号(五〇点)
……昭和二年五月二八日官報六一〇八号二一一頁(英文)・二二三頁(和文)
- 〔追24〕昭和二年五月二五日付覚書追加第二四号(五〇点)
……昭和二年六月六日官報六一一六号五一頁(英文)・五二頁(和文)
- 〔追25〕昭和二年六月二日付覚書追加第二五号(六〇点)
……昭和二年六月二一日官報六一二九号一五四頁(英文)・一五五頁(和文)
- 〔追26〕昭和二年六月一六日付覚書追加第二六号(二九九点)
……昭和二年七月三日官報六一三九号一九頁(英文)・一九頁(和文)
- 〔追27〕昭和二年七月一日付覚書追加第二七号(六一一点)
……昭和二年七月二九日官報六一六一号一八七頁(英文)・一八八頁(和文)
- 〔追28〕昭和二年七月二五日付覚書追加第二八号(五〇点)
……昭和二年八月一三日官報六一一七四号七六頁(英文)・七七頁(和文)
- 〔追29〕昭和二年八月一日付覚書追加第二九号(三九九点)

- ……昭和二年九月三日官報六一九二号二三頁(英文)・二三頁(和文)
- 〔追30〕昭和二年八月一日付覚書追加第三〇号(八八点)……昭和二年九月三日官報六二〇九号一四八頁(英文)・一五〇頁(和文)
- 〔追31〕昭和二年九月二日付覚書追加第三二号(五〇〇点)……昭和二年一〇月二七日官報号外(〇号)二頁(英文)・一五頁(和文)
- 〔追32〕昭和二年九月一日付覚書追加第三二二号(五四〇点)……昭和二年一〇月二五日官報号外(〇号)九頁(英文)・二二頁(和文)
- 〔追33〕昭和二年一〇月一日付覚書追加第三三二号(五一五点)……昭和二年一〇月二〇日官報号外二二頁(英文)・一六頁(和文)
- 〔追34〕昭和二年一〇月二五日付覚書追加第三四二号(四五〇点)……昭和二年一〇月二四日官報号外(〇号)一〇頁(英文)・二三頁(和文)
- 〔追35〕昭和二年一〇月一日付覚書追加第三五二号(五六〇点)……昭和二年二〇月二四日官報号外二二頁(英文)・一九頁(和文)
- 〔追36〕昭和二年一〇月二五日付覚書追加第三六二号(六〇五点)……昭和二年三月二二日官報号外(〇号)九頁(英文)・二六頁(和文)
- 〔追37〕昭和二年二月一日付覚書追加第三七二号(五五〇点)……昭和二年四月二七日官報号外(〇号)九頁(英文)・二五頁(和文)
- 〔追38〕昭和二年二月一日(二六日)付覚書追加第三八二号(五〇〇点)……昭和二年八月一八日官報号外(〇号)四頁(英文)・一七頁(和文)
- 〔追39〕昭和二年一月一日付覚書追加第三九二号(五五〇点)……昭和二年五月二五日官報号外(〇号)五頁(英文)・二〇頁(和文)
- 〔追40〕昭和二年一月二五日付覚書追加第四〇二号(五五〇点)……昭和二年六月二四日官報号外(〇号)一頁(英文)・一六頁(和文)
- 〔追41〕昭和二年二月一日付覚書追加第四一〇号(五五〇点)……昭和二年一〇月七日官報号外一〇号六頁(英文)・二二頁(和文)
- 〔追42〕昭和二年二月二五日付覚書追加第四二二号(五〇〇点)……昭和二年四月二九日官報号外二二号一一頁(英文)・二五頁(和文)

〔追43〕 昭和二年三月一日付覚書追加第四三号（二四〇点）

……昭和二年一月二日官報号外二九号四頁（英文）・一〇頁（和文）

〔追44〕 昭和二年三月二五日付覚書追加第四四号（八〇点）

……昭和二年一月三二日官報六六二二二二〇一頁（英文）・二〇四頁（和文）

〔追45〕 昭和二年四月一日付覚書追加第四五号（六〇点）

……昭和二年二月二日官報六六三三〇号一六四頁（英文）・一六五頁（和文）

〔追46〕 昭和二年四月二五日付覚書追加第四六号（二〇点）

……昭和二年二月二四日官報六六三三三三〇号一八八頁（英文）・一八九頁（和文）

昭和二年勅令第三二二号により国内法化された右覚書に基づく没収を担当したのは、当初は内務省警保局（＝戦前の発禁処分担当部局）であったが、警察法（昭和二年一月二七日法律第一九六号）の施行（昭和二年三月六日）に伴い、事務処理は文部省社会教育局（＝戦前の推薦図書担当部局）に移管され、社会教育局は『連合国総司令部から没収を命ぜられた宣伝用刊行物総目録（五十音順）』（文部省社会教育局、昭和二三年）を編んで没収作業の迅速化の便を計った。

没収が秘密裏に行われたとの謬説が広がった原因は、同目録に収録された昭和二年六月二二日発計第一七四号文部次官通達（都道府県知事宛）「宣伝用刊行物の没収について」中の、没収担当者に対して知事の発行する身分証明書裏面に「四、本事務の施行されていることを当事者以外に知らせてはならない」旨の記載があったためである。しかし、これは個別具体的な事務処理の非公表を指示したものにすぎず、しかも、これを指示したのはGHQではなく文部省であった。他方、没収対象となる刊行物それ自体については、上記のように「官報」を通じて広く公表されていた。官報に掲載されている事項を「秘密裏」というのなら、公職追放や教職追放も秘密裏に行われたことになってしまう。

なお、没収刊行物が「官報」で公示されている点については、古くから知られていた事柄である。にもかかわらず、先行業績の指摘する基礎的事実が看過され、上記社会教育局の目録が復刻されて一人歩きを始めたことが、今日の謬見の生まれた原因であり、GHQの出版物没収に対する批判はむしろ、それが戦前の大日本帝国憲法下で行われた発禁処分と何ら変わるところがないこと、没収の根拠法令である勅令第三二二号が日本国憲法下では「漠然性ゆえ

に無効 (void-for-vagueness)」「過度な広汎性ゆえに無効 (void-for-overbreadth)」である」と向けられるべきであらう。

しかし、右の誤謬を正すのが本稿の目的ではない。関心の対象は、没収指定された総計七〇〇冊に及ぶ刊行物中に含まれている日本評論社の書目である。この点に関して、比較の対象として、岩波書店と有斐閣の刊行物を摘記しておこう (〔追1〕 1……は、前記GHQの覚書追加の号数と、各号で書目に冠記されている付番)。

前記1戦前の推薦図書に多く選ばれていた岩波書店の没収出版物が九点であるのに対して、有斐閣の没収出版物は二三点を数える。しかし、日本評論社の没収出版物は、有斐閣の倍を超える四七点である。

A 岩波書店

- ①〔追7〕2 寛克彦(進講)『神ながらの道』(皇太后宮職御蔵版、〔初版〕発行・内務省神社局、頒布・神ながらの道普及会、〔再版〕発行・皇学会、頒布・岩波書店、大15・1)
- ②〔追7〕3 秋山謙蔵(著)『日本歴史の内省』(昭18・3)
- ③〔追7〕4 四手井綱正(講述)『戦争史概観』(昭18・10)〔13〕イ2②
- ④〔追13〕15 松岡静雄(著)『太平洋民族誌』(昭16・7)

⑤〔追32〕441 沼田多稼蔵(著)『日露陸戦新史』(再刊)岩波新書78、昭15・11……〔初版〕兵書出版社、大13・3)

⑥〔追35〕123 本居宣長(撰)・倉野憲司(校訂)『古事記伝(四)』(岩波文庫、昭19・6)

⑦〔追35〕543 太田慶一(著)『太田伍長の陣中手記』(昭15・10)

⑧〔追38〕121 宮本武之輔(著)『大陸建設の課題』(昭16・12)〔1(1)IB6(i)④〕

⑨〔追43〕22 京城帝国大陸文化研究会(編)『続大陸文化研究』(昭18・4)

B 有斐閣

①〔追22〕49 西本穎(著)『ドイツ国民性展開の理論』(昭19・9)

②a〔追24〕5・b〔追31〕183・c〔追32〕292・d〔追39〕260

石川興二(著)『新体制の指導原理——我国体に基く現代の革新』(昭15・12)

③a〔追31〕344・b〔追38〕155 田村敏雄(著)『満洲と満洲国』(昭16・5)

④a〔追32〕182・b〔追37〕434 難波田春夫(著)『戦力増強

の理論』(昭18・4)〔1(1)IB7(i)①・1(3)イ3②〕

⑤〔追34〕285 柴田敬(著)『日本経済革新案大綱』(昭15・10)

⑥〔追35〕188 末川博∥実方正雄∥原龍之助∥谷口知平(共著)

- 『大阪商科大学経済研究所研究叢書・第二二冊』国
 防経済法体制——国家総動員法を中心として』(昭
 17・2)〔1(1)工B(Ⅲ)①〕
- 7 a (追35) 390・b (追42) 129 牧健二(著)『日本国体の理論』
 (昭15・3)〔1(3)イ3①〕
- ⑧ (追35) 417 目崎憲司(著)『支那の経済建設——事前と事後』
 (昭16・7)
- ⑨ (追35) 494 山名寿三(著)『航空法論(第二卷)』(昭6・8)
- ⑩ (追39) 453 満洲国司令部(編)『満洲家族制度慣習調査・
 第一卷』(昭19・6)
- ⑪ (追40) 158 金平幹夫(著)『皇法学概論』(昭18・1)
- ⑫ (追40) 491 英修道(著)『国際法学会(編)大東亜国際法
 叢書3』日本の在華治外法権』(昭18・8)
- ⑬ (追40) 498 松下正寿(著)『国際法学会(編)大東亜国際
 法叢書2』米洲広域国際法の基礎概念』(昭17・12)
- ⑭ (追40) 538 植田捷雄(著)『国際法学会(編)大東亜国際
 法叢書5』大東亜共栄圏と支那』(昭20・2)
- ⑮ (追41) 100 高橋貞三(著)『満洲国基本法』(昭18・8)
- ⑯ (追41) 240 永井亨(著)『新国体論——国体の社会学的闡明』
 (昭14・3)
- ⑰ (追41) 379 安井郁(著)『国際法学会(編)大東亜国際法
- 叢書1』欧洲広域国際法の基礎概念』(昭17・12)
- ⑱ (追42) 314 磯部喜一(著)『経済政策概論』(昭19・9)
- ⑲ (追42) 376 磯部喜一(編)・日本学術振興会第二十三小委員会
 報告『時局と中小工業5中小工業統制組織』(昭17・11)
- ⑳ (追43) 32 檜崎敏雄(著)『軍用航空と民間航空』(昭13・3)
- ㉑ (追43) 165 本位田祥男・早川卓郎(著)『(東亜経済研究
 3) 東亜の蚕糸業』(昭18・12)
- ㉒ (追43) 174 石田文次郎・村教三(著)『満洲民法・物権』(昭17・12)
- ㉓ (追44) 15 佐藤十郎・大石泰彦(著)『郷男爵記念会論文
 集2 経済建設と国防』最近に於ける我国経済の变革
 と其将来・我国の国防経済体制』(昭19・6)
- C 日本評論社
- ① (追6) E(Ⅱ5) 室伏高信(著)『戦争と青年』(昭12・
 10) [1199]
- ② (追20) 5 国策研究会(編)『(大東亜問題調査会研究報告・
 第六卷)大東亜共栄圏文化体制論』(昭19・10) [1774]
- ③ (追26) 10 小牧近江(著)『(新作長編小説選集・第七)異
 国の戦争』(昭5・10) [822]
- ④ (追26) 14 永田美那子(著)『男装従軍記』(昭7・7) [813]
 〔1(2)イ9⑤〕
- ⑤ (追27) 21 中平亮(著)『大亜細亜主義』(昭8・9) [881]

- ⑥ 〔追31〕 484 大久保弘一(著)『陸軍読本』(昭13・4)〔1236〕
〔1(1)イA8②・1(2)ウ8⑤〕
- ⑦ a 〔追32〕 4・b 〔追35〕 157 大蔵公望(著)『日本統制経
済叢書・第五卷 日滿統制経済論』(昭8・10)〔887〕
- ⑧ 〔追32〕 111 小川太一郎(著)『航空読本(改訂版)』(昭13・
2)〔1222〕〔1(1)イA3①・1(2)イ10(i)③・
1(2)ウ2③・1(2)ウ8④〕
- ⑨ 〔追32〕 140 青木保(著)『兵器読本』(昭12・10)〔1201〕〔1
(2)ウ8②〕
- ⑩ 〔追32〕 221 吉野作造(著)『時事問題講座7 对支問題』(昭
4・12)〔606〕
- ⑪ 〔追32〕 232 大橋静市(著)『日本評論叢刊3 企業の国家
性』(昭19・11)〔1780〕
- ⑫ 〔追32〕 342 平貞蔵(著)『滿蒙移民問題』(昭8・3)〔841〕
- ⑬ 〔追32〕 536 福永恭助(著)『挑むアメリカ』(昭6・5)〔744〕
- ⑭ 〔追33〕 64 平田晋策(著)『陸軍読本』(昭7・1)〔791〕〔1
(2)イ9(i)⑥〕
- ⑮ 〔追33〕 215 池田秀雄(著)『滿洲統治論』(昭9・2)〔908〕
- ⑯ 〔追34〕 14 下村宏(著)『日本の行くべき道』(昭8・3)〔846〕
- ⑰ 〔追34〕 74 除野信道(著)『日本評論叢刊7 支那事変軍
票論』(昭20・3)〔1796〕
- ⑱ 〔追34〕 138 五十嵐豊作(著)『国防政治の研究』(昭20・3)〔755〕
- ⑲ 〔追34〕 279 前田河広一郎(著)『(新)作長編小説選集』支那
から手を引け』(昭5・11)〔694〕
- ⑳ 〔追34〕 369 読売新聞社(編)『日本をどうする——速に国
策を樹立せよ』(昭10・6)〔1022〕
- ㉑ 〔追35〕 48 法律時報編集部(編)・内田源兵衛(著者代表)
『逐条解説国家総動員法——附、物価停止関係等法
令解説』(昭14・10)〔1373〕
- ㉒ 〔追35〕 57 中保与作(著)『滿州国皇帝——新帝国創建秘史』
(昭10・3)〔994〕
- ㉓ 〔追35〕 290 小山松吉(著)『日本精神読本』(昭10・1)〔984〕
- ㉔ 〔追36〕 85 太田宇之助(著)『新支那の誕生』(昭12・3)〔1152〕
- ㉕ 〔追36〕 234 高橋邦夫(著)『帝国海軍と上海事変——國際
都市動乱の真相』(昭7・4)〔801〕
- ㉖ a 〔追37〕 157・b 〔追44〕 41・c 〔追44〕 48・d 〔追45〕 15
二荒芳徳(編纂代表)『新独逸国家大系』(昭14・7)〔
1351〕〔a全巻、b第一巻、c第八巻、d第六巻〕
- ㉗ 〔追37〕 469 海後宗臣Ⅱ吉田昇(共著)『学生生活調査』(昭
18・3)〔686〕
- ㉘ a 〔追38〕 100・b 〔追43〕 229 南滿洲鉄道株式会社調査部(編)
『北支那の農業と経済(上巻)』(昭17・10)〔1626〕〔1

- (3) ア4 ㊦
- ②9〔追39〕 108 田中精一(著)『経済新体制とは何ぞや』(昭16・2) [1483]
- ③0〔追39〕 408 松井春生(著)『経済協同体の進展』(昭16・2) [1588]
- ③1〔追40〕 368 日本工業協会(編)『工業動員叢書・第三巻』戦争と労働』(昭14・2) [1329]
- ③2〔追40〕 369 栗原勇之助(著)『時局の線に立ちつ』(昭13・7) [1265]
- ③3〔追40〕 445 国弘員人(著)『(経済全書8) 経済団体』(昭16・11) [1544]
- ③4〔追40〕 505 酒井鎬次(著)『(政治全書2) 現代用兵論』(昭18・1) [1634]
- ③5〔追41〕 41 日本学術振興会第四小委員会報告『時局と社会政策』(昭16・9) [1534]
- ③6〔追41〕 187 大阪商科大学経済研究所(編)『(大阪商科大学経済研究所報・第一輯) 戦時経済の特殊問題』(昭19・9) [1756]
- ③7〔追41〕 237 山県有朋(著)・松下芳男(解題)『明治文化叢書5』陸軍省沿革史』(昭17・12) [1646]
- ③8〔追41〕 386 齊藤秀夫(著)『ナチス・ドイツの文化統制』(昭16・9) [1514]
- ③9〔追42〕 291 南满洲鉄道株式会社調査部(編)『独逸占領地域の経済経営』(昭16・8) [1524]
- ④0〔追42〕 354 堀経夫(編)『(大阪商科大学経済研究所研究叢書・第二三冊) 満洲国経済の研究』(昭17・3) [1574]
- ④1〔追42〕 456 太平洋協会(編)『(太平洋全集・第七巻) ニューギニアの自然と民族』(昭18・5) [1681]
- ④2〔追42〕 488 中村哲(著)『植民地統治法の基本問題』(昭18・10) [1719]
- ④3〔追43〕 149 宮下忠雄(著)『(神戸商業大学商業研究所・大東亜経済叢書・第二輯) 支那戦時通貨問題一斑』(昭18・9) [1706]
- ④4〔追43〕 155 永田清(著)『(財政学)の展開』(昭17・1) [1567]
- ④5〔追43〕 209 『(3) ア4 ㊦』(昭19・2) [1756]
- ④6〔追43〕 214 長守善(著)『(ナチス経済建設)』(昭14・7) [1354]
- ④7〔追45〕 1 大川周明(著)『(日本評論叢刊1) 新亜細亜小論』(昭19・6) [1756]

(96) 漆畑弥一「図書没収指令覚え書」日本古書通信三七巻一二号(昭和四七年)七頁、松浦総三「増補決定版」占領下の言論弾圧(現代ジャーナリズム研究会、昭和四九年)一一頁以下……(収録)『松浦総三の仕事②戦中・占領下のマスコミ』(大月書店、昭和五九年)六二頁以下、奥泉栄三郎「戦時教化・宣伝用刊行物の行方——もうひとつの占領軍接収資料」現代の図書館一九巻二号(昭和五六年)六五頁、奥泉栄三郎「古川純」戦時教化・宣伝用刊行物——日本占領下の没収計画とそのゆくえ(含・資料)『東京経大会誌』一二二号(昭和五六年)三三頁、福島鏗郎「戦犯図書」PNUSI一三・一四号(雄松堂、昭和五九年)……(所収)福島鏗郎『戦後雑誌の周辺』前掲注(80)二六九頁、清水正三「焚書の記録——敗戦時における図書館の記録より(特集・戦争と図書館員2)」みんなの図書館一一号(昭和六一年)二頁、松本剛「略奪した文化——戦争と図書」(岩波書店、平成五年)……(新訂)『岩波人文書セレクション』平成二七年)九頁、二二頁、植村芳浩「戦後公共図書館の一断面(含・出版物没収関係資料)」図書館学六五号(平成六年)一九頁、藤原明彦「占領期における出版物没収と図書館」図書館研究シリーズ三二号(平成七年)一頁、山本武利「占領期メディア分析」(法政大学出版局、平成八年)二三七頁、勝岡寛次「占領下の『図書没収』に関する研究(その一) 第一回没収指令(SCAPIN 83) 発令に至るまで」戦後教育史研究二三号(平成二一年)二二頁、勝岡寛次「占領下の『図書没収』に関する研究(その二) 覚書追加第一号(SCAPIN 83) から追加第三号まで」戦後教育史研究二四号(平成二二年)一

七頁、大庭平四郎「山口経済専門学校における連合国軍総司令部による図書の没収(平成二六年度山口大学「新呼び水」プロジェクト)特集」東亜経済研究七三巻二号(平成二七年)九三頁。

(97) たえば占領史研究会(編者)『増補改訂GHQに没収された本(総目録)』(サワズ&出版、平成一七年)澤龍「はじめに」一一頁「自由と平等をうたう米国は他の一方で、このように大規模な『言論の自由』への禁圧を行っていた。占領の開始からいち早く、しかも秘密裏に進めていったということだ」、西尾幹二「GHQ焚書図書開封1」(徳間文庫、平成二六年)一一頁「こうしたこと(没収)は今までまったく知られていなかった戦後秘史に属します」、西尾幹二「GHQ焚書図書開封2」(徳間文庫、平成二六年)「あとがき」四八〇頁「アメリカは『焚書』すなわち本の没収行為は表向きいっさいやっていない、米軍の占領政策にそういう野蛮行為はなかった、ということにずっとしているし、公的には今も類かぶりしたままです」。

(98) 矢崎憲正「勅令三二一号——占領目的の有害行為処罰規定の制定」警察研究一七巻九号(昭和二二年)二頁、神谷尚男「勅令第三二一号について」警察研究二二巻九号(昭和二五年)三二頁。近時の業績として、出口雄一「戦時法制改革と占領管理体制」(慶応義塾大学出版会、平成二九年)「とくに二六〇頁以下」。

(99) 漆畑弥一・前掲注(96)八〜九頁。近時の文献では、大庭平四郎・前掲注(96)九三頁も「官報」の記載に言及している。

(100) 『復刻』焚書資料刊行会(企画編集)・文部省社会教育

局（編）『連合国軍総司令部指令』没収指定図書総目録（今日の話題社、昭和五七年）。しかし、同復刻版に関しては、①原典の表紙を復刻していないこと、②昭和二三年六月二二日文武部次官通達（原文縦書き）を写真製版せず横書きで翻刻していること、③目録を解体して頁を逆順に復刻していること等の問題がある。原典については、今日では国立国会図書館デジタルコレクションで一般公開されているので（<http://dl.ndl.go.jp/info:dljp/pid/1159482>）、原典を直接参照するのが無難であろう。

〈表2〉 日本評論社・旧社時代（大正6年～昭和27年） 出版目録（二・昭和10年～昭和27年）

20	昭和10年（一九三五年）
1	大島義清（著）『現代日本工業全集27』ガス
2	馬場敬次（編輯代表者）『経営学年報』第一冊
3	稲葉岩吉（君山）（著）『増訂・満洲発達史』（A・B…2月）……〔増補版〕大正13年〔28〕
4	小山松吉（著）『読本シリーズ』日本精神読本
5	加藤一夫（著）『老子』
6	車田千春（著）『新経済全集25』軍需工業論
7	栗田三吾（訳）『ムッソリーニ全集Ⅲ』新政治の開始（自一九三二年一〇月二八日至一九三三年一月二三日）
8	吉野信次（著）『現代日本工業全集3』日本工業政策
9	山田耕筈（著）『読本シリーズ』音楽読本
10	松波仁一郎（著）『松波閑著』牛門漫筆——名高い人と私
11	高神覚昇（著）『日本仏教聖者伝4』弘法
12	村松正俊（訳）『ムッソリーニ全集Ⅸ』ファシズモ原理（自一九三二年至一九三三年）
13	高山藤次郎（著）『読本シリーズ』銀行読本
14	中保与作（著）『満州国皇帝——新帝国創建秘史』
15	橋爪明男（著）『読本シリーズ』銀行読本
16	清水玄（著）『解釈法令叢書1』健康保険法……〔改訂〕昭和15年〔46〕
17	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
18	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
19	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
20	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
21	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
22	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
23	尾崎行雄（著）『政戦六十年』
24	尾崎行雄（著）『政戦六十年』

49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	
[1029]	[1028]	[1027]	[1026]	[1025]	[1024]	[1023]	[1022]	[1021]	[1020]	[1019]	[1018]	[1017]	[1016]	[1015]	[1014]	[1013]	[1012]	[1011]	[1010]	[1009]	[1008]	[1007]	[1006]	[1005]	
11	10	10	7 3	20	20	19	18	15	10	10	6 7	29	20	20	20	20	18	18	15	5 15	20	20	20	20	
C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	
杉村楚人冠(著)『山中説法——随筆集』	穂積八束(著)『穂積八束遺著 憲政大意』……〔注〕穂積八束の遺著の再刊。巻頭に穂積重成「再刊ノ辞」	美濃部達吉(著)『美濃部達吉論文集・第二卷』法の本质』……〔復刊〕昭和23年〔1938〕	フォン・ホルトキウィッツ(著)・国松久彌Ⅱ岩野晃次郎(共訳)『社会文庫・第二一冊〕マルクス価値学説批判』	河合栄治郎(著)『学生生活』……〔第二版・改題〕『第一学生生活』昭和12年〔1169〕、〔選集版〕昭和22年〔1833〕	生田長江(訳)『ニイチェ全集3〕人間的な余りに人間的な(上)』	杉村広太郎(楚人冠)(著)『続々・湖畔吟』	読売新聞社(編)『日本をどうする——速に国策を樹立せよ』	佐々井信太郎(著)『二宮尊徳伝』(A・B・7月)	山辺習学(著)『日本仏教聖者伝6〕親鸞』	東京日日新聞社経済部(編)『新説を語る』	……〔継統〕一九六〇年版	末弘巖太郎(責任編集)『法律年鑑(昭和一〇年版)』法律時報七卷七号臨時増刊(A・B…8月)	桜田総子(著)『美学と芸術学』	岩崎純孝(著)『ムッソリーニ全集Ⅷ〕農業の諸問題(自一九二七年至一九二八年)』	友松円吉(著)『日本仏教聖者伝5〕法然』	生田長江(訳)『ニイチェ全集10〕権力への意志(上)』	斉藤正平(著)『現代日本工業全集23〕ゴム』	汐見三郎(著)『専売及官公業論』	小島昌太郎(著)『(経済学大系・第二卷) 綜合保険学』	河合栄治郎(著)『(経済学体系・第一卷) 改訂・社会政策原理』……〔初版〕昭和6年〔57〕、〔選集版〕昭和22年〔1847〕	上杉慎吉(著)『帝国憲法逐条講義』	増谷文雄(著)『日本仏教聖者伝10〕明治高僧伝』	牧野輝智(著)『財政概論』(A・B…なし)	佐野利器Ⅱ桜井良雄(著)『(現代日本工業全集25) 建築』	三浦逸雄(訳)『ムッソリーニ全集Ⅱ〕ファシスト革命(自一九一九年三月三日至一九三二年一〇月二八日)』

79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50
[1039]	[1031]	[1032]	[1033]	[1034]	[1035]	[1036]	[1037]	[1038]	[1039]	[1040]	[1041]	[1042]	[1043]	[1044]	[1045]	[1046]	[1047]	[1048]	[1049]	[1050]	[1051]	[1052]	[1053]	[1054]	[1055]	[1056]	[1057]	[1058]	[1059]
						12					11						10					9							
28	27	22	20	18	18	11	20	20	12	3	1	30	28	11	10	7	1	23	21	18	18	12	23	29	20	20	18	12	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)
梅浦健吉(著)『現代日本工業全集9』羊毛工業	賀川豊彦・藤崎盛一(共著)『農村更生叢書30』立体農業の理論と実際	美濃部達吉(著)『美濃部達吉論文集・第三卷』ケルゼン学説の批判	生田長江(訳)『ニイチエ全集8』善悪の彼岸・この人を見よ(ニイチエ自伝)	圭室諦成(著)『日本仏教聖者伝8』道元	大藏省(編述)『昭和十年度予算の解説』	生田長江(訳)『ニイチエ全集9』道德系講学・偶像の薄明・反基督(A・B…8月)	神戸正雄(著)『経済学体系・第三卷』改訂増補・財政学	蠟山政道(著)『議會・政党・選挙』	室伏高信(著)『支那游記』	正井敬次(著)『貨幣価値の研究』	生田長江(訳)『ニイチエ全集5』黎明	『日本評論』一〇卷一〇号……〔注〕『経済往来』[30]改題	前納悦三(著)『株式会社実務の手引・第一卷』設立株式会社債篇	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一卷(皇室篇・憲政篇)』	山川均(著)『隨筆集』からす	生田長江(訳)『ニイチエ全集4』人間的な余りに人間的な(下)	高浜虚子(著)『読本シリーズ』俳句読本	藤原銀次郎(著)『工業日本精神』	佐佐木信綱(著)『読本シリーズ』万葉読本	金子武蔵(著)『現代哲学全集・第二卷(上)』古代哲学史(上)	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一四卷(経済篇・上)』	美濃部達吉(著)『美濃部達吉論文集・第四卷』公法と私法	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第二卷(裁判篇・刑事篇)』	尾高朝雄(著)『現代哲学全集・第一七卷』法哲学……〔改訂〕昭和12年[1907]	生田長江(訳)『ニイチエ全集6』悦ばしき知識——附・放浪公子の歌	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第二卷(官職篇)』	佐治謙讓(著)『国家法人説の崩壊・天皇主権説』	斉藤俊吉・山口貴雄・大山清一郎(共著)『現代工業全集7』織物	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第七卷(土木篇)』

26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	80	
[1086]	[1085]	[1084]	[1083]	[1082]	[1081]	[1080]	[1079]	[1078]	[1077]	[1076]	[1075]	[1074]	[1073]	[1072]	[1071]	[1070]	[1069]	[1068]	[1067]	[1066]	[1065]	[1064]	[1063]	[1062]	[1061]	[1060]	28
							4						3							2				1		C	
30	30	28	22	20	18	15	12	9	30	28	19	18	18	22	18	18	18	11	8	5	30	27	24	18	17	(D)	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	(D)	
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	D		
高田保馬（著）『民族の問題』	関口泰（著）『読本シリーズ』選挙読本	末弘巖太郎（責任編輯）『現代法令全集・第一五卷（経済篇・中）』	森五六（著）・佐藤丑次郎（評注）『憲政と軍人』	小林久平（著）『現代日本工業全集19』石油工業	吳文炳（著）『経済学大系・第四卷』信託論	大河内一男（著）『独逸社会政策思想史』……〔改訂〕昭和24年〔2037〕・昭和26年〔2187〕	シユムペーター（著）・木村健康・安井琢磨（訳）『理論経済学の本質と主要』	尾崎行雄（著）『読本シリーズ』改訂増補・政治読本』……〔初版〕大正14年〔321〕	土方成美（著）『経済学』	生田長江（訳）『ニイチエ全集11』権力への意志（下）	宇井伯寿（著）『現代哲学全集・第七卷』印度哲学史』	末弘巖太郎（責任編輯）『現代法令全集・第一七卷（国際篇）』	末弘巖太郎（責任編輯）『現代法令全集・第三卷（财政篇・上）』	棚橋啓三（著）『現代日本工業全集8』生糸	土方成美（述）『統制経済の話』	末弘巖太郎（責任編輯）『現代法令全集・別卷（経済篇）』	吳文炳（著）『銀行論』	生田長江（訳）『ニイチエ全集2』季節はづれの考察』	谷崎潤一郎（著）『鴉鵲籠雜纂』	田畑忍（著）『憲法学の基礎理論』	日本評論社（編）『馬場財政と財界の前途』	生島広治郎（著）『現代の貿易と貿易政策』	末弘巖太郎（責任編輯）『現代法令全集・第六卷（兵事篇）』	遠藤正男（著）『日本近世商業資本発達史論』（A・B・6月）	穂積重遠（著）『読本シリーズ』新訂・民法読本』（A・なし、B・昭和10年12月）……〔初版〕昭和2年〔386〕〔改訂版〕昭和6年〔772〕〔改版〕昭和18年〔1683〕・昭和23年『新民法読本』〔1899〕		

27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52		
[1087]	[1088]	[1089]	[1090]	[1091]	[1092]	[1093]	[1094]	[1095]	[1096]	[1097]	[1099]	[1099]	[1100]	[1101]	[1102]	[1103]	[1104]	[1105]	[1106]	[1107]	[1108]	[1109]	[1110]	[1111]	[1112]		
5	18	22	6	5	5	10	13	15	16	25	20	20	25	1	5	10	18	20	1	12	9	4	5	15	20		
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	N	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	D	(D)	(D)	D	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)		
河田嗣郎(著)『経済学体系・第五卷 経済学原理』	江部鴨村(著)『日本仏教聖者伝2 聖徳太子』(A・B・6月)	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第九卷(通信篇)』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第一回配本)』	河合栄治郎(著)『社会思想家評伝』……〔選集版〕昭和21年〔1925〕	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第一分冊)』	生田長江(訳)『ニイチェ全集1 悲劇の出生——附・ワグネルの事件』	ベルグソン(著)・坂田徳男(訳)『時間と自由』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一六卷(経済篇・下)』	橋樸(著)『支那社会研究』	雑誌『日本評論』主催座談会・室伏高信(司会者)『青年政治家は何を求める』……〔発行所〕東京パンフレット通信社(東京市芝区金杉川口町二〇)、『発売所』山地書店(東京市芝区金杉川口町二〇)、『全国一手取次所』森田書房(東京市麹町区有楽町二ノ二)……〔注〕奥付に『日本評論社』の者名は出てこないが、『日本評論』の別刷りの体裁をとっており、『読本シリーズ』の広告も掲載している	古井喜実(著)『解釈法令叢書2 選挙法規』	エドワード・ベルンシュタイン(著)・上田肇(訳)『社会文庫・第二二冊 社会主義の過去及現在——過去及現在に於ける社会主義の論争問題』	松岡孝児(著)『金為替本位制の研究』(A・B・8月)	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第二回配本)』	鈴木梅太郎(井上兼雄(共著)『読本シリーズ』栄養読本』……〔新訂〕昭和16年〔1922〕	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第二分冊)』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第五卷(地方篇・教育篇)』	室伏高信(著)『南進論』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三回配本)』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第四卷(財政篇・下)』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第四回配本)』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一〇卷(宗教篇・社会篇)』	城戸幡太郎(著)『現代哲学全集・第八卷上 心理学史(上)』(A・B・8月)	生田長江(訳)『ニイチェ全集12 書簡及び索引』	木村清司(著)『解釈法令叢書3 労働保護法』		

8	7	6	5	4	3	2	1	22	71	70	69	68	67	66	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53
(1140)	(1139)	(1138)	(1137)	(1136)	(1135)	(1134)	(1133)	(一九三七年)	(1132)	(1131)	(1130)	(1129)	(1128)	(1127)	(1126)	(1125)	(1124)	(1123)	(1122)	(1121)	(1120)	(1119)	(1118)	(1117)	(1116)	(1115)	(1114)	(1113)
30	30	29	29	20	15	1	1		25	15	10	1	25	20	20	15	11	11	1	16	15	10	10	10	1	21	20	20
C	C	C	C	C	C	C	C		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)		(D)	(D)	N	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	N	(D)	(D)
杉村広太郎(楚人冠)	太田正孝(著)『時事問題叢書1』増税問題	高瀬荘太郎(著)『読本シリーズ』会計読本(A・B・2月)	高瀬荘太郎(著)『読本シリーズ』国民経済学原理	平尾善保(著)『明朗雑談』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第八回配本)』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一三卷一(民事篇・上)』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集(第八回配本)』	大森洪太(著)『隨筆・波立つ雲』	安岡正篤(著)『読本シリーズ』漢詩読本(A・B・7月)	河合栄治郎(編)『鈴木利貞(編)』(学生叢書)学生と教養	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第七回配本)』	馬場敬治(著)『技術と社会・第一卷』(A・B・12月)	高田保馬(著)『理論経済学叢書4』経済と勢力	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一卷(警察篇・衛生篇)』	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第四分冊)』	松村勝治郎(著)『日本農業全書2』農村工業	沢村康(著)『日本農業全書1』農業団体論	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第六回配本)』	大森洪太(著)『英国三大裁判悲劇』	蛭山政道(著)『行政学原論・第一分冊』	佐藤寛次(編)『農業小辞典』(A・11月、B・なし)	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第三分冊)』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集(第八卷(交通篇))』	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集(第五回配本)』	末弘厳太郎(責任編輯)『新法学全集(第五回配本)』	正田貞一郎(著)『現代日本工業全集22』製粉工業	杉村楚人冠(著)『と見かう見』	三木清(編)『現代哲学辞典』……〔新版・改定再版〕昭和16年〔1985〕、〔第一版〕昭和22年〔1947〕

36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
[1168]	[1167]	[1166]	[1165]	[1164]	[1163]	[1162]	[1161]	[1160]	[1159]	[1158]	[1157]	[1156]	[1155]	[1154]	[1153]	[1152]	[1151]	[1150]	[1149]	[1148]	[1147]	[1146]	[1145]	[1144]	[1143]	[1142]	[1141]
20	20	20	20	18	1	1	5	28	28	20	15	1	4	30	28	21	18	1	1	20	20	15	15	10	5	1	2
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	N	D	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)
末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第九回配本)』	日本評論社(編)『今日の支那』日本評論二卷二号別冊付録(A・B・4月)	高橋誠一郎(著)『経済学体系・第六卷』経済学史・上』	波多野鼎(著)『経済学入門』……〔改訂版〕昭和12年〔1208〕〔全訂版〕昭和15年〔1401〕〔第三版〕昭和25年〔2099〕	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第五分冊)』	小泉信三(著)『経済原論〔第六版〕』……〔初版〕昭和6年〔773〕	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・第一三卷二(民事篇・下)』	水野祐吉(著)『百貨店論』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第一〇回配本)』	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第二卷』大英遊記・半球周遊(A・B・2月)	カール・メンガー(著)・戸田武雄(訳)『社会科学の方法に関する研究』	太田宇之助(著)『新支那の誕生』	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第三卷』戦に使用して・越後記・ひとみの旅』	波多野鼎(著)『景気学説批判』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第一一回配本)』	桜田総子(著)『自然科学概論』	ウィクセル(著)・北野熊喜男(訳)『理論経済学叢書5』価値資本及地代』	荷見安(著)『日本農業全書3』米穀政策論』	河合栄治郎(著)『時局と自由主義』	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第四卷』虫のあところ・「その他」』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第一二回配本)』	末川博(編)『新法学辞典(上巻)』……〔下巻〕11月〔1206〕〔増補〕昭和14年〔1335〕	塩入亮忠(著)『伝教大師』	カール・マルクス(著)・フリードリヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論(経済学批判)第一巻第一冊』……〔新版〕昭和21年〔1817〕	末弘厳太郎(責任編輯)『現代法令全集・追録』	亀井直人(著)『化学工業概論』……〔改訂版〕昭和16年7月	高橋偵造『星野勘六』山田正一『浅井勇直』深井冬史『土井新次(共著)』『現代日本工業全集15』醸造』	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第六分冊)』

66	[1198]	20	C・D	牧野輝智(著)『日本財政論』
67	[1199]	20	C・D	室伏高信(著)『戦争と青年』
68	[1200]	28	C・D	森周六(著)『日本農業全書5』犁と犁耕法』
69	[1201]	29	C・D	青木保(著)『読本シリーズ』兵器読本』
70	[1202]	11	C・D	末弘巖太郎(編輯代表)『新法学全集(第一八回配本)』
71	[1203]	1	C・D	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第一〇巻』かにかくに・と見かう見』
72	[1204]	1	C・D	阿部信夫(著)『読本シリーズ』海軍読本』(A・B:10月)
73	[1205]	5	C・D	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第七分冊)』
74	[1206]	18	C・D	末川博(編)『新法学辞典(下巻)』……〔上巻〕5月〔1162〕、〔増補〕昭和14年〔1335〕
75	[1207]	20	C・D	尾高朝雄(著)『現代哲学全集・第一七巻』改訂・法哲学』(A:なし、B:昭和13年1月)……〔初版〕昭和10年〔1054〕
76	[1208]	20	C・D	波多野鼎(著)『改訂・経済学入門』(A:なし)……〔初版〕昭和12年〔1144〕、〔全訂版〕昭和15年〔1208〕、〔第三版〕昭和25年〔2099〕
77	[1209]	25	C・D	中山伊知郎(著)『数理経済学研究』
78	[1210]	25	C・D	井藤半弥(著)『財政学入門』……〔改訂版〕昭和15年〔1454〕、〔増訂〕昭和17年9月、〔三訂〕昭和19年7月
79	[1211]	28	C・D	カール・マルクス(著)・フリードリヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論(経済学批判)第一巻第二冊』……〔新版〕昭和21年〔1824〕
80	[1212]	12	C・D	末弘巖太郎(編輯代表)『新法学全集(第一九回配本)』
81	[1213]	18	C・D	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第七巻』浜口梧陵伝・翻訳集』
82	[1214]	25	C・D	風早八十二(著)『日本社会政策史』(B:昭和13年2月)……〔第二版〕昭和22年〔1856〕
83	[1215]	25	C・D	清水幾太郎(著)『流言蜚語』
84	[1216]	27	C・D	高野六郎(著)『読本シリーズ』衛生読本』
85	[1217]	27	C・D	河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と先哲』
23	昭和13年(一九三八年)			
1	[1218]	1	C・D	末弘巖太郎(編輯代表)『新法学全集(第二〇回配本)』
2	[1219]	1	C・D	日本評論編集部(編)『北支経済地理』日本評論一三巻一号別冊附録(A:なし)
3	[1220]	25	C・D	伍堂卓雄(編)『国防資源論』
4	[1221]	1	C・D	末弘巖太郎(編輯代表)『新法学全集(第二一回配本)』

33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
[1250]	[1249]	[1248]	[1247]	[1246]	[1245]	[1244]	[1243]	[1242]	[1241]	[1240]	[1239]	[1238]	[1237]	[1236]	[1235]	[1234]	[1233]	[1232]	[1231]	[1230]	[1229]	[1228]	[1227]	[1226]	[1225]	[1224]	[1223]	[1222]
				5													4						3					
27	25	25	15	1	30	25	25	25	20	20	20	20	19	15	12	10	1	25	25	25	25	1	25	25	25	25	25	1
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	D	D	(D)	(D)	D	D	N	(D)	(D)	D	D	D	D	D	(D)	D	D	D	(D)
河合栄治郎(編)『社会思想史・経済学史・経済原論文獻』	金原賢之助(編)『国防経済論』(A・B:4月)	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第一二卷』新選文・序・跋・詩句集	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第八分冊)』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学会全集(第二四回配本)』	エム・イー・カザニン(著)・堀江邑一(訳)『支那経済地理概論……(四版)』昭和16年5月	河合栄治郎(著)『トーマス・ヒル・グリーンンの思想体系(改装〔合冊〕版)……〔初版〕』(上巻)昭和5年(866)、『下巻』昭和5年(884)、『選集』昭和24年[2001]	上床国夫(著)『科学者の観たソ連邦』	吉川兼光(著)『全体主義の理論と実際』	佐藤寛次(著)『日本農業全書6 最近肥料問題』	牧野輝智(著)『財政学要綱』	本位田祥男(著)『統制経済の理論——協同経済への道』	高田保馬(著)『(理論)経済学叢書8 経済学概論』	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第一卷』山中説法・続山中説法・一日一章・阿修羅帖抄	大久保弘一(著)『読本シリーズ』陸軍読本	高垣寅次郎(編)『商業経済辞典』	千野国丸(著)『有限会社法解説』(A・B:なし)	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学会全集(第二三回配本)』	棚橋初太郎(著)『小農経済と協同組合』……〔新訂版〕昭和16年[1482]	桑原晋(著)『物価論』	牧野輝智(著)『(経済学体系・第七卷)新金融論』	今中次磨(著)『政治統制論』	浦本漸潮(政三郎)(著)『科学と文化』	未弘厳太郎(編輯代表)『新法学会全集(第二二回配本)』	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第九卷』今日の問題	稲葉岩吉(著)『支那近世史講話』	小平権一(著)『解釈法令叢書5 産業組合法』	難波田春夫(著)『国家と経済(第一卷)』	小川太一郎(著)『読本シリーズ』航空読本(改訂版)……〔初版〕昭和7年[822]

34	[1251]	C	D		波多野鼎(著)『経済講話』
35	[1252]	C	D		南満洲鉄道株式会社産業部(編)『北支那経済綜観』
36	[1253]	C	D	6	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第二五回配本)』
37	[1254]	C	D	1	魚返善雄(編)『支那語読本——附・ローマ字対照支那地名常用発音字典』……〔注〕日本評論一三卷三号(昭和13年3月) 別冊附録の単行本化
38	[1255]	C	D	10	本位田祥男(著)『改訂・英国経済史要』……〔初版〕昭和3年(1938)〔第三版〕昭和22年(1947)
39	[1256]	C	D	20	山上金男(著)『浙江財閥論——その基本的考察』
40	[1257]	C	D	20	井上貞蔵(著)『中小商業者問題』
41	[1258]	C	D	25	近藤康男(著)『農業簿記学』……〔改版〕昭和24年(2002)
42	[1259]	C	N	28	河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と社会
43	[1260]	C	D	1	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第二六回配本)』
44	[1261]	C	D	5	田畑忍(著)『帝国憲法条義』
45	[1262]	C	D	5	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第二三卷』新聞視角・最近新聞紙学
46	[1263]	C	D	18	難波田春夫(著)『国家と経済・第二卷』古典に於ける国家と経済
47	[1264]	C	N	25	鈴木宗正(著)『新工場経営論』
48	[1265]	C	D	31	栗原勇之助(著)『時局の線に立ちて』
49	[1266]	C	D	1	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第二七回配本)』
50	[1267]	C	D	3	荒木光太郎(編)『インフレーション』
51	[1268]	C	D	15	牧野英一(著)『パンテオンの人人』
52	[1269]	C	D	25	伊藤兆司(著)『南洋農業資源論』
53	[1270]	C	D	25	萩原井泉水(著)『読本シリーズ』芭蕉読本
54	[1271]	C	D	28	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第一四卷』新聞記事回顧
55	[1272]	C	D	1	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第二八回配本)』
56	[1273]	C	D	25	日高巳雄(著)『解釈法令叢書6』軍事法規
57	[1274]	C	D	27	佐藤信衛(著)『佐藤信衛評論集』文化のため
58	[1275]	C	D	25	ラグナー・ヌルクセ(原著)・増井光蔵(傍島省三(共訳)『国際資本移動論』
59	[1276]	C	D	1	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第二九回配本)』
60	[1277]	C	D	1	杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第一五卷』強肺術・肺病全快談・明治時代
61	[1278]	C	D	5	宮田喜代蔵(著)『生活経済学研究』
62	[1279]	C	D	20	杉之原舜一(著)『不動産登記法』

87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63		
[1304]	[1303]	[1302]	[1301]	[1300]	[1299]	[1298]	[1297]	[1296]	[1295]	[1294]	[1293]	[1292]	[1291]	[1290]	[1289]	[1288]	[1287]	[1286]	[1285]	[1284]	[1283]	[1282]	[1281]	[1280]		
														12						11						
30	27	27	26	25	25	25	25	18	18	12	10	10	6	1	28	15	25	25	15	1	1	28	28	25		
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)		
<p>川崎克(著)『日本趣味を行く』</p> <p>伍堂卓雄(著)『伸びゆく独逸——ナチス・経済の実相を視る』</p> <p>鈴木梅太郎(著)『ピタマン』……〔改訂〕昭和15年〔1936〕、〔改版〕昭和18年8月、〔全訂〕昭和25年〔1973〕</p> <p>末弘巖太郎(編輯代表)『新法學全集(第三〇回配本)』</p> <p>アグネス・スメッドレイ(著)・けん・かとう(訳)『第八路軍従軍記——アメリカ婦人記者の手記』日本評論一三卷一―号別冊附録……〔増補再版〕昭和14年〔1906〕</p> <p>土方成美(著)『日本経済学への道』</p> <p>尾佐竹猛(著)『日本憲政史大綱(上巻)』</p> <p>石村貞吉(著)『日本古典読本2』源氏物語</p> <p>深井英五(著)『新訂・通貨調節論』……〔初版〕昭和3年〔1955〕、〔増訂〕昭和4年〔1957〕</p> <p>麻生慶次郎(著)『増訂・土壤と肥料』……〔初版〕昭和8年〔1934〕、〔第三版〕昭和22年〔1955〕、〔第四版〕昭和23年〔1947〕</p> <p>末弘巖太郎(編輯代表)『新法學全集(第三一回配本)』</p> <p>ヴェルヘルム・ヴント(原著)・平野義太郎(訳)『民族心理より見たる政治的社会』(A・B…11月)</p> <p>日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(第九分冊)』</p> <p>日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(本編)』</p> <p>西島弥太郎(著)『手形法・小切手法』(A・B…11)</p> <p>松本潤一郎(著)『新社会学要綱』</p> <p>土岐善磨(著)『天地自然』</p> <p>広瀬武文(編)・末弘巖太郎(監修)『統制法令集』(A・B…昭和14年1月)</p> <p>E・ウィスケマン・H・リュッケ(編)・金子弘(訳)『独逸経済学の道』……〔再版〕昭和18年〔1953〕</p> <p>森田無適(著)『矢野恒太と第一生命』</p> <p>風巻景次郎(著)『日本古典読本8』謡曲</p> <p>本庄栄治郎(著)『近世日本の研究・その三』近世の経済思想(統篇)……〔正篇〕昭和6年〔1961〕。なお、『近世日本の研究・その二』幕末の新政策』は有斐閣より発刊(昭和10年12月5日発行)。</p> <p>松本信次(著)『戦時株式取引所論』</p> <p>松山茂二郎(著)『理論経済学叢書9』ソヴィエト経済研究』</p> <p>河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と読書』</p>																										

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
[1331]	[1330]	[1329]	[1328]	[1327]	[1326]	[1325]	[1324]	[1323]	[1322]	[1321]	[1320]	[1319]	[1318]	[1317]	[1316]	[1315]	[1314]	[1313]	[1312]	[1311]	[1310]	[1309]	[1308]	[1307]	[1306]	[1305]		
							4	1	30	27		25	23	4	1	27	25	25	3	1	1	1	2	25	15	1・5		
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	N	D	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	N	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)		
ウイクセル(著)・北野熊喜男「服部新一(共訳)『理論経済学叢書II』利子と物価——貨幣の	東京商科大学国立学会(編)「文化諸科学・学界展望」第一輯……『継続』(第四輯(昭和17年9月)	日本工業協会(編)『工業動員叢書・第三卷』戦争と労働	日本工業協会(編)『工業動員叢書・第二卷』物資動員	日本工業協会(編)『工業動員叢書・第一卷』戦争と工業	リチャードソン(著)・鈴木規一(訳)『最低賃銀論』	広浜嘉雄(著)『日本の私法制度論考』	友重毅(著)『日本古典読本II』近松	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三五回配本)』	田畑忍(著)『法と政治』……『増補版』昭和16年[1517]	牧野英一(著)『急急如律令録(正)』……『続』昭和17年[1602]、『(第三)』昭和24年[2027]	昭和4年[600]	高橋亀吉(著)『日本資本主義発達史(改訂増補版)』……『初版』昭和3年[474]、『増補改訂』	飯島曼史(著)『南窓襟記』	深井英五(著)『人物と思想』	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三四回配本)』	塩田良平(著)『日本古典読本3』枕草子(A・B:3月)……『全訂』昭和16年[476]	神戸正雄(著)『財政学大綱』(A・B:3月)……『全訂』昭和16年[476]	水野武夫(著)『日本農業全書7』農産物取引論	栗村雄吉(著)『理論経済学叢書・第一〇篇』独占価格の理論	粵優美(著)『解釈法令叢書7』工業所有権法	小泉芝三(著)『日本古典読本5』新古今集	日本評論編輯部(編)『土の声に聴く』日本評論一四卷二号別冊附録(A:なし)	郡菊之助(著)『交通文化論』(A・B:1月)	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三三回配本)』	尾佐竹猛(著)『日本憲政史大綱(下巻)』	記(増補再版)』……『初版』昭和13年[1284]	アグネス・スメッドレイ(著)・けん・かとう(訳)『第八路軍従軍記——アメリカカ婦人記者の手	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三二回配本)』

56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
(1360)	(1359)	(1358)	(1357)	(1356)	(1355)	(1354)	(1353)	(1352)	(1351)	(1350)	(1349)	(1348)	(1347)	(1346)	(1345)	(1344)	(1343)	(1342)	(1341)	(1340)	(1339)	(1338)	(1337)	(1336)	(1335)	(1334)	(1333)	(1332)
				8						7								6								5		
				1						1								3								1		
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	N	(D)	D	D	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)
<p>交換価値決定原因に関する研究」 E・L・ボガート(著)・岡野鑑記(訳)『戦費財政——戦時戦後の財政金融問題』 末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三六回配本)』 法律時報編輯部(編)『新法律——第七十四議会の協賛を経たる』法律時報一巻五号別冊附録(A::な) 末川博(編)『新法学辞典(増補第一版)』(A::4月、B::6月)……〔初版〕昭和12年〔1962〕〔1206〕 近藤忠義(著)『日本古典読本9』西鶴 ハインリッヒ・パウエル(著)・高山洋吉(訳)『支那鉱業論——支那及満州国に於ける鉱富の研究』 土方成美(著)『英国の戦時財政経済』 今中次磨(著)『独伊独裁政の機構』 川西正鑑(著)『工業立地の研究』 松田慎三(著)『新訂・デパートメントストア』……〔初版〕昭和6年〔761〕〔改訂版〕昭和8年〔895〕 杉本栄一(著)『理論経済学の基本問題——経済発展の過程と弾力性概念』 里見岸雄(著)『日本政治の国体的構造』 額原退蔵(著)『日本古典読本10』芭蕉 木村茂樹(著)『航空経済論』(A・B::7月) 河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と学園 ウィットフォーゲル(著)・森谷克巳(平野義太郎(訳編)『東洋的社会の理論』 吉富重夫(著)『行政組織原理』(B::なし) 入沢宗寿(著)『現代哲学全集・第一五巻』教育哲学 末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三七回配本)』 二荒芳徳(編輯代表)『新独逸国家大系・第一巻(政治篇一)』 近藤康男(著)『蔬菜栽培の経済調査——東京帝国大学農学部多摩農場附設第一経済農場の経過報告』 石川武彦(著)『経済上より観たる園芸地域変動論』 長守善(著)『ナチス経済建設』 末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(第三八回配本)』 杉村広太郎(著)『楚人冠全集・第一六巻 十三年集・温故抄』 二荒芳徳(編輯代表)『新独逸国家大系・第九巻(経済篇一)』 河田嗣郎(著)『時局下の思想と経済』 森一兵(著)『隨筆・独伊と日本』 大石義雄(著)『国民投票制度の研究』</p>																												

57	[1361]	C・D	28	大倉邦彦(著)『日本産業道』
58	[1362]	C・(D)	28	キンドゥルバーガー(著)・松井栄一(訳)『国際短期資本移動論』
59	[1363]	C・(D)	29	日本学術振興会(編)『物価問題の応急策』
60	[1364]	C・(D)	20	二荒芳徳(編纂代表)『新独逸国家大系・第一巻(経済篇三)』
61	[1365]	C・D	25	山田節男(著)『貧苦の人々を護りて——方面委員は語る』(A・B・10月)
62	[1366]	C・(D)	25	福井孝治(著)『経済と社会』
63	[1367]	C・(D)	25	石山徹郎(著)『日本古典読本12』現代短歌』
64	[1368]	C・(D)	27	小葉田淳(著)『中世南島通交貿易史の研究』
65	[1369]	C・D	28	国弘員人(著)『統制経済とカルテル・組合』
66	[1370]	C・(D)	30	難波田春夫(著)『国家と経済・第三巻』我が国の古典に於ける国家と経済』
67	[1371]	C・(D)	1	中山伊知郎(著)『東畑精一(共編)『新経済学全集(第一回配本)』
68	[1372]	C・(D)	25	波多野鼎(著)『統制経済講話』……(新版)昭和16年(1946)
69	[1373]	C・(D)	30	法律時報編集部(編)・内田源兵衛(著者代表)『逐条解説国家総動員法——附、物価停止関係等法令解説』……(増補版)12月(1983)
70	[1274]	C・(D)	30	日本経済史研究所(編)『日本経済史辞典(索引)』
71	[1375]	C・(D)	1	末弘巖太郎(編輯代表)『新法学全集(第三九回配本)』(本巻完結)
72	[1376]	C・(D)	1	中山伊知郎(著)『東畑精一(共編)『新経済学全集(第二回配本)』
73	[1377]	C・(D)	1	イ・オ・ロリマー(著)『ヒットラーは何を求るか』日本評論一四巻一—号別冊附録(A・なし)
74	[1378]	C・(D)	5	二荒芳徳(編纂代表)『新独逸国家大系・第三巻(政治篇三)』
75	[1379]	C・(D)	12	ランスロット・ホグベン(著)・今野武雄・山崎三郎(共訳)『百万人の数学——数学上の発明の社会的背景に立脚せる数学入門書(上巻)』
76	[1380]	C・(D)	25	野村兼太郎(著)『徳川時代の経済思想』
77	[1381]	C・(D)	25	西尾実(著)『日本古典読本7』徒然草』
78	[1382]	C・(D)	12	中山伊知郎(著)『東畑精一(共編)『新経済学全集(第三回配本)』
79	[1383]	C・(D)	15	法律時報編集部(編)・内田源兵衛(著者代表)『逐条解説国家総動員法——附、物価停止関係等法令解説(増補)』(A・B・昭和15年1月(2月))……(初版)10月(1973)
80	[1384]	C・(D)	20	二荒芳徳(編纂代表)『新独逸国家大系・第二巻(政治篇一)』
81	[1385]	C・(D)	20	湯山昇(編著)『日華辞典』
82	[1386]	C・(D)	20	河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と科学』
83	[1387]	C・(D)	25	河合栄治郎(著)『金井延の生涯と学蹟』(A・B・11月)

23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
[1413]	[1414]	[1415]	[1416]	[1417]	[1418]	[1419]	[1420]	[1421]	[1422]	[1423]	[1424]	[1425]	[1426]	[1427]	[1428]	[1429]	[1430]	[1431]	[1432]	[1433]	[1434]	[1435]	[1436]	[1437]	[1438]	[1439]	[1440]	[1441]
9	12	15	20	25	25	25	25	1	1	15	29	30	1	5	5	15	20	21	25	25	25	10	15	15	15	25	1	5
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)
近藤康男(編)『佐藤寛次博士還暦記念 農業経済学論集』	日本学術振興会(編)『物価問題の再検討』(A・B・6月)	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集・別巻(総索引)』……大森洪太「会社法(四・完)」	稲葉岩吉(著)『満洲国史通論』	末弘厳太郎(著)『民法雑記帳(正)』	小松堅太郎(著)『新民族主義論』	岸本誠二郎(著)『価格の理論』	久松潜一(著)『日本古典読本1』万葉集	末弘厳太郎(編輯代表)『新法学全集(新装版)』	中山伊知郎「東畑精一(共編)『新経済学全集(第七回配本)』	南満洲鉄道株式会社調査部(編)『北支棉花綜覧』	ロルフ・ヴァーゲンフール(著・阪本泉(訳)『戦争経済の理論と政策』	二荒芳徳(編輯代表)『新独逸国家大系・第五卷(法律篇一)』	中山伊知郎「東畑精一(共編)『新経済学全集(第八回配本)』	永田清(著)『戦争経済の潮流』	永積安明(著)『日本古典読本6』平家物語……〔改訂版〕昭和24年〔1964〕	河合栄治郎(著)『学生に与ふ』	山城章(著)『価格統制の研究——価格政策の経営経済学的考察』	小田内通敏(著)『日本郷土学』(A・B・7月)	穂積重遠(著)『続・有閑法学』	三島通陽(著)『戦時下の世界青少年運動』	杉浦治七(著)『金融学説研究』	中山伊知郎「東畑精一(共編)『新経済学全集(第九回配本)』	鈴木梅太郎(著)『改訂・ピタギン』(A・B・8月)……〔初版〕昭和13年〔1928〕、〔改版〕昭和18年8月、〔全訂〕昭和25年〔2173〕	勝本正晃(著)『担保物権法論』	大河内一男(著)『社会政策の基本問題』……〔増訂版〕昭和19年〔1739〕、〔第三版〕昭和22年〔1858〕	中央物価統制協力会議(編)『改正暴利行為等取締規則解説』	中山伊知郎「東畑精一(共編)『新経済学全集(第一〇回配本)』	中央物価統制協力会議(編)『奢侈品等製造販売制限規則解説』

79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	
[1469]	[1468]	[1467]	[1466]	[1465]	[1464]	[1463]	[1462]	[1461]	[1460]	[1459]	[1458]	[1457]	[1456]	[1455]	[1454]	[1453]	[1452]	[1451]	[1450]	[1449]	[1448]	[1447]	[1446]	[1445]	[1444]	[1443]	[1442]	
				12								11							10	9								
15	15	10	5	1	25	23	21	20	20	17	15	7	1	28	20	20	20	5	2	1	29	31	31	30	30	20	20	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
N	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	D	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	
鈴木栄太郎 (著) 『日本農村社会学原理』 (A・B・なし) …… [注] 同日時潮社からも刊行	二荒芳徳 (編纂代表) 『新独逸国家大系・第六卷 (法律篇二)』	河合栄治郎 (編) 『(学生叢書) 学生と日本』	杉之原舜一 (著) 『判例親族法の研究』	牧野英一 (著) 『理窟物語』	須々木庄平 (著) 『堂島米市場史』	近藤忠義 (編) 『日本文学入門』 (A・B・9月)	二荒芳徳 (編纂代表) 『新独逸国家大系・第四卷 (政治篇四)』	中山伊知郎 (著) 『東畑精一 (共編) 『新経済学全集 (第一一回配本)』	マーシャル (著) 『政治経済学の問題』 『経済学名著選集・第一輯』 『マーシャル経済学選集』	大熊信行 (著) 『政治経済学の問題』 『生活原理と経済原理』	松岡寿八 (編著) 『支那民族性の研究』	長守善 (著) 『英国経済の衰頹過程』	井藤半弥 (著) 『改訂・財政学入門』 …… [初版] 昭和12年 [210]、[増訂] 昭和17年9月、[三訂] 昭和19年7月	渡辺光 (編著) 『支那地理大系 (自然環境篇)』	中山伊知郎 (著) 『東畑精一 (共編) 『新経済学全集 (第一二回配本)』	西島弥太郎 (著) 『改正会社法』 『附有限会社法』	霜島潜 (監修) 『商工省織維局 (著) 『毛織物配給統制の解説』	波多野鼎 (著) 『現代の経済学』	大道安次郎 (著) 『スミス経済学の生成と発展』 …… [第二版] 昭和23年 [1901]	中央労働統制協力会議 (編) 『ナチス経済組織法』 『独逸経済ノ有機的構成準備法』 並に同施行法令及び解説』 (A・B・12月)	南満洲鉄道株式会社調査部 (編) 『北支農村概況調査報告』 『彰徳県第一区宋村及候七里店』	河合栄治郎 (編) 『(学生叢書) 学生と芸術』	本位田祥男 (編) 『新体制下の経済』 (A・B・12月)	中山伊知郎 (著) 『東畑精一 (共編) 『新経済学全集 (第一三回配本)』	法律時報編集部 (編) 『会社経理統制令・銀行等資金運用令・賃金統制令の解説』	清水玄 (著) 『解釈法令叢書1』 『改訂・健康保険法』 …… [初版] 昭和10年 [96]	二荒芳徳 (編纂代表) 『新独逸国家大系・第七卷 (法律篇三)』	鈴木栄太郎 (著) 『日本農村社会学原理』 (A・B・なし) …… [注] 同日時潮社からも刊行

82	26	昭和16年(一九四一年)	岩重信寛(著)『国民経済構造論』
81			野村淳治(著)『増訂・行政法総論・上巻』(A・なし、B・昭和16年2月)……〔初版〕昭和12年〔180〕
80			大河内一男(著)『戦時社会政策論』(A・B・昭和19年9月)……〔注〕同日時潮社からも刊行
1	1		中央物価統制協力会議(編)『宅地建物等価格統制令解説』
2			四宮恭二(著)『戦争・食料・農業』
3			中山伊知郎⇨東畑精一(共編)『新経済学全集(第一四回配本)』
4	2		神戸正雄(著)『全訂・財政学大綱』(A・B・なし)……〔初版〕昭和14年〔1315〕
5	5		美濃部達吉(著)『日本鉱業法原理』
6			佐々木惣一(著)『憲法・行政法演習(第一巻)』
7			日本経済政策学会(編)『日本経済政策学会年報・第一輯』経済政策の諸問題』
8			馬場敬治(著)『組織と技術の問題』
9			宮田喜代蔵(著)『貨幣の生活理論——貨幣経済の本質に関する生活経済学研究』
10			棚橋初太郎(著)『新訂・小農経済と協同組合』……〔初版〕昭和13年〔1232〕
11			田中精一(著)『経済新体制とは何ぞや』
12			二荒芳徳(編纂代表)『新独逸国家大系・第八巻(法律篇四)』
13	3		三木清(編)『新版・現代哲学辞典』……〔初版〕昭和11年〔1113〕〔第二版〕昭和22年〔1841〕
14			中山伊知郎⇨東畑精一(共編)『新経済学全集(第一五回配本)』
15			高島善哉(著)『経済社会学の根本問題——経済社会学者としてのスミスとリスト』
16			近藤康男(著)『農林統計改正要旨』
17			ブルツク(著)・石井誠(訳)『新訳・英国文学史』
18			吉富重夫(著)『行政機構改革論』
19			野間海造(著)『日本の人口と経済』
20			石山徹郎⇨榊原美文(共著)『評釈伝記・樋口一葉』
21	4		八重樫運吉(著)『国防国家の理論と政策』
22			河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と西洋』
23			河合栄治郎(著)『明治思想史の一断面——金井延を中心として』……〔選集〕昭和24年〔2008〕
24			河合栄治郎(著)『国民に懇ふ』
25			豊崎稔(著)『大阪商科大学経営研究所・日本工業調査叢書・第一五輯』日本機械工業の基礎構造』
25			

54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	
[1526]	[1525]	[1524]	[1523]	[1522]	[1521]	[1520]	[1519]	[1518]	[1517]	[1516]	[1515]	[1514]	[1513]	[1512]	[1511]	[1510]	[1509]	[1508]	[1507]	[1506]	[1505]	[1504]	[1503]	[1502]	[1501]	[1500]	[1499]	[1498]	
	8			7							6										5								
25	20	20	25	20	10	30	30	28	28	20	20	10	25	20	20	20	20	17	15	15	10	30	30	30	30	30	30	28	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・D	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・N	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・N	
武藤文雄(著)『解釈法令叢書8』労務統制法』	幸田露伴(著)『幻談』	南満洲鉄道株式会社調査部(編)『独逸占領地域の経済経営』	黒正厳(著)『経済地理学原論』(A・B…8月)	鈴木梅太郎⇨井上兼雄(著)『読本シリーズ』新訂・栄養読本』(A…なし)……『初版』昭和11年[1102]	文定昌(著)『朝鮮の市場』	杉浦広太郎(著)『楚人冠全集・第一七卷』軽篇・重篇』	『中山伊知郎⇨東畑精一(共編)『新経済学全集(第一六回配本)』	逸見重雄(著)『仏領印度支那研究』	田畑忍(著)『増補版・法と政治』……『初版』昭和14年[1322]	波多野鼎(著)『新版・統制経済講話』(A…なし)……『初版』昭和14年[1372]	中央物価統制協力会議(編)『鮮魚介配給統制規則解説』	斉藤秀夫(著)『ナチス・ドイツの文化統制』	南満洲鉄道株式会社調査部(編)『支那国際収支論叢』(A・B…6月)	日本技術協会(編)『国民と技術』	京都帝国大学(著)『尊攘遺芳』(A・B…8月)	マーシャル(著)・戸田正雄(訳)『経済学入門』……『新版』昭和25年[2161]	竹中竜雄(著)『都市行政刷新論』	塩野谷九十九著『経済全書7』アメリカ経済の発展』	河田嗣郎(著)『国防経済概論』	木村亀二(著)『法と民族』	伊藤迪(著)『ジャーナリズムの日本的課題』	菅原憲(著)『独逸に於ける猶太人問題の研究』	永田清(編)『経済全書6』戦争と経済』	堀江保蔵(著)『経済全書5』日本経済文化史』(A・B…5月)	野村兼太郎(著)『経済全書4』維新前後』	波多野克(著)『経済全書3』株価を決定するもの』	波多野常治(著)『経済全書2』商業経済論』	波多野野鼎(著)『経済全書1』景気変動論』	……『改版』昭和24年[2040]

81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55			
[1533]	[1532]	[1531]	[1530]	[1529]	[1528]	[1527]	[1526]	[1525]	[1524]	[1523]	[1522]	[1521]	[1520]	[1519]	[1518]	[1517]	[1516]	[1515]	[1514]	[1513]	[1512]	[1511]	[1510]	[1509]	[1508]	[1507]			
25	25	25	25	25	20	20	15	10	10	25	20	20	20	19	15	10	30	30	25	20	20	8	5	1	1				
C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D				
日本経済学会(編)『日本経済学会年報』一輯……〔継続〕(昭和17年)	中央物価統制協力会議(編)『株式価格統制令・会社所有株式評価臨時措置令解説』	高田保馬(著)『理論経済学叢書15』第二経済学概論』(A・B・12月)	中山伊知郎(著)『数理経済学研究』	田畑忍(著)『法、憲法及国家』	静田均(著)『経済全書9』カルテル問題』	の強化・修繕料等の統制・九、一八の当分延期』	中央物価統制協力会議(編)『昭和十六年十月』改正価格等統制令解説——最近の総合物価対策	国際文化振興会(編)『日本文化の特質——紀元二千六百年記念国際懸賞論文集』	二荒芳徳(編纂代表)・上原専祿・小林良正(共訳)『新独逸国家大系・別巻』独逸史』	国弘員人(著)『経済全書8』経済団体』	中央物価統制協力会議(編)『青果物配給統制規則解説』(A・B・なし)	河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と哲学』(A・B・11月)	ヘルマン・クラノルド(著)・藤原光治郎(訳)『国際資源分配論』(A・B・7月)	中山伊知郎(著)『戦争経済の理論』	桑原晋(著)『景気と失業(理論経済学叢書・第一四篇)景気と失業——ケムブリッジ学派雇傭理論の研究を中心として』	小松堅太郎(著)『民族の理論』	穂積重遠(著)『法学通論』……〔第二版〕昭和22年〔1981〕(全訂版)昭和24年〔1988〕	井上政次(著)『大和古寺』……〔第二版〕昭和23年〔1989〕	及び原因に関する論文』……〔文庫版〕昭和22年〔1983〕	サミュエル・ペイリー(著)・鈴木鴻一郎(訳)『リカード価値論の批判——価値の性質、尺度、	野上豊一郎(著)『西洋見学』	日本学術振興会第三十八小委員会報告『公益性と営利性』	『新経済学全集(第一七回配本)』	中山伊知郎・東畑精一(共編)『新経済学全集(第一七回配本)』	改正外国為替管理法令解説』(B・2月)	中央物価統制協力会議(編)『改正当外為替管理法令解説』(B・2月)	難波田春夫(著)『国家と経済・第四巻』現代日本経済の基礎構造』(A・B・8月)	栗村雄吉(著)『価格の一般理論』	大熊信行(著)『経済本質論(配分原理・第一巻)』

16	[1581]	C・D	25	25	4	10	C・(D)
17	[1582]	C・(D)	25	25	4	10	C・(D)
18	[1583]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
19	[1584]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
20	[1585]	C・(D)	18	18	4	10	C・(D)
21	[1586]	C・(D)	20	20	4	10	C・(D)
22	[1587]	C・(D)	25	25	4	10	C・(D)
23	[1588]	C・(D)	30	30	4	10	C・(D)
24	[1589]	C・(D)	5	5	4	10	C・(D)
25	[1590]	C・(D)	5	5	4	10	C・(D)
26	[1591]	C・(D)	15	15	4	10	C・(D)
27	[1592]	C・(D)	18	18	4	10	C・(D)
28	[1593]	C・(D)	20	20	4	10	C・(D)
29	[1594]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
30	[1595]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
31	[1596]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
32	[1597]	C・(D)	12	12	4	10	C・(D)
33	[1598]	C・(D)	20	20	4	10	C・(D)
34	[1599]	C・(D)	20	20	4	10	C・(D)
35	[1600]	C・(D)	30	30	4	10	C・(D)
36	[1601]	C・(D)	5	5	4	10	C・(D)
37	[1602]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
38	[1603]	C・(D)	15	15	4	10	C・(D)
39	[1604]	C・(D)	5	5	4	10	C・(D)
40	[1605]	C・(D)	5	5	4	10	C・(D)
41	[1606]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)
42	[1607]	C・(D)	10	10	4	10	C・(D)

- (A・B…なし)
- 河田嗣郎(編)『農業新機構研究(大阪商科大学経済研究所研究叢書・第一一冊)』
- 山田勇(著)『東京商科大学東亜経済研究所研究叢書・第一冊』東亜農業生産指数の研究——内地・朝鮮・台湾の部』
- ミュルダール(著)・山田雄三(訳)『経済学名著選集・第三輯』経済学説と政治的要素』
- W・ザワズキー(著)・寺尾琢磨(訳)『数理経済学叢書』経済学に応用された数学』
- 後藤清(著)『借地法・借家法の主要問題』
- 竹内昭夫(著)『東洋思想叢書2』春秋』
- 土岐善麿(著)『田安宗武(第一冊)』
- ラムプレヒト(著)・上原専祿(訳)『経済学名著選集・第二輯』歴史的思考入門』
- 信夫清三郎(著)『日本歴史学大系1』近代日本産業史序説』
- 小野武夫(著)『日本農業起源論』
- 津曲藏之丞(著)『日本統制経済法』
- 佐々木惣一(著)『憲法・行政法演習・第二巻』
- 平井泰太郎(著)『統制経済と経営経済』(A・B…6月)
- 江沢護爾(著)『地政学研究』(A・B…7月)
- 武者小路実篤(著)『東洋思想叢書3』維摩経』
- 山口隆二(著)『日本の時計——徳川時代の和時計の研究』……『改訂第二版』昭和25年(2386)
- 本位田祥男(著)『大東亜経済建設』
- 立作太郎(著)『米国外交上の諸主義』(A・B…7月)
- 越村信三郎(著)『経済循環の基本図式』
- 波多野鼎(著)『経済講話・第一巻』貨幣・価格・企業』……『改訂第二版』昭和25年7月
- 高垣寅次郎(編)『戦時の貨幣金融問題——五十嵐直三記念論文集』
- 遠藤正男(著)『九州経済史研究』
- 牧野英一(著)『続・急急如律令録』……『(正)』昭和14年(1321)、『(三)』昭和24年(2027)
- 中川善之助(著)『日本親族法(昭和一七年)』
- 木村喜一郎(著)『企業経済の構造と機能』
- 大隅健一郎(著)『支那及印度経済論』(A・B…9月)……『(注)』京都帝国大学経済学部内・故財
- 部教授記念事業『財部静治遺稿・支那及印度経済論』(非売品 昭和16年12月15日)の再刊

69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	
[1634]	[1633]	[1632]	[1631]	[1630]	[1629]	[1628]	[1627]	[1626]	[1625]	[1624]	[1623]	[1622]	[1621]	[1620]	[1619]	[1618]	[1617]	[1616]	[1615]	[1614]	[1613]	[1612]	[1611]	[1610]	[1609]	[1608]	
11	10	25	20	20	20	15	15	10	1	1	20	20	15	15	10	10	10	5	9	5	30	30	25	15	15	10	
C	C	N	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	D	N	D	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	
<p>東京商科大学「橋新聞部」編「商学研究の栞」 土岐善磨(著)「周辺」(A・B・9月) 根岸勉治(著)「南方農業問題」 土岐善磨(著)「東洋思想叢書4」高青邱 河田嗣郎(著)「社会組織と社会政策」 波多野鼎(著)「経済講話・第三卷」金融・投資 内野熊一郎(著)「東洋思想叢書5」墨子 チウネン(著)・近藤康男(訳)「農業と国民経済に関する孤立国」(A・B・昭和18年3月)……〔文庫版〕昭和22年〔1964〕〔1965〕 江沢護爾(著)「経済全書14」国土計画の基礎理論 山田文雄(著)「経済全書15」東印度の経済 加藤弘之(著)・田畑忍(解題)「明治文化叢書4」強者の権利の競争 本庄栄治郎(著)「日本経済思想史研究」(A・B・10月)……〔統篇〕昭和22年〔1939〕 末川博(著)「判例民法の理論的研究・第一卷」 川西正鑑(著)「国防経済立地論——国土計画策定の科学的基礎」(B・7月) リチャード・ジョーンズ(著)・鈴木鴻一郎Ⅱ遊部久蔵(共訳)「地代論」 釈迺空(著)「天地に宣る」(A・B・10月) 酒井鍋次(著)「政治全書Ⅰ」現代戦争論」(A・B・11月) 中央物価統制協力会議(編)「経済統制法年報」二卷一輯……〔発行〕中央物価統制協力会議、〔発売〕日本評論社。一巻四輯。 南满洲鉄道株式会社調査部(編)「北支那の農業と経済(上巻)」 清水三男(著)「日本歴史学大系2」日本中世の村落」……〔第二版〕昭和23年〔1934〕 菅井準一(著)「科学文化の基調」 藤原泰(著)「満洲国統制経済論——満洲国に於ける統制経済の採用・変展・成果」 高木暢哉(著)「利子学説史」 酒井正三郎(著)「国民経済構造変動論」 近藤康男(著)「日本農業経済論」(A・B・なし)……〔注〕同年10月30日には時潮社からも刊行、〔第二版〕昭和21年〔1931〕 河田嗣郎(著)「国民経済学」 近藤康男(著)「日滿農政研究叢書」満洲農業経済論」</p>																											

42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	
[1690]	[1689]	[1688]	[1687]	[1686]	[1685]	[1684]	[1683]	[1682]	[1681]	[1680]	[1679]	[1678]	[1677]	[1676]	[1675]	[1674]	[1673]	[1672]	[1671]	[1670]	[1669]	[1668]	[1667]	[1666]	[1665]	[1664]	[1663]	
15	10	10	10	6 1	25	25	25	20	10	5	23	20	15	15	5	5	1	31	31	25	20	20	15	10	10	10	3 1	
C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	
田辺勝正(著)『支那土地制度研究』	脇山康之助(著)『政治全書7』印度の政治問題	井坂錦江(著)『支那民族生活史』	中川善之助(著)『民法大綱・上巻(総則・物権)』	和田小次郎(著)『法哲学・上巻』	昭和6年〔772〕、『新訂』昭和11年〔1086〕、『改版』昭和18年〔1685〕、昭和23年『新民法読本』〔1899〕	穂積重遠(著)『説本シリーズ』改版『民法読本』(A・Bなし)……〔初版〕昭和2年〔386〕、『改訂』昭和6年〔772〕、『新訂』昭和11年〔1086〕、『改版』昭和18年〔1685〕、昭和23年『新民法読本』〔1899〕	土岐善麿(著)『田安宗武(第二冊)』	E・ウイスケマン・H・リュトケ(編)・金子弘(訳)『独逸経済学の道』(A・Bなし)……〔初版〕昭和13年〔1288〕	重友毅(著)『続日本古典読本10』秋成	太平洋協会(編)『太平洋全集・第七巻 ニューギニアの自然と民族』	志賀重昂(著)・土方定一(解題)『明治文化叢書6』知られざる国々	カンテイヨン(著)・戸田正雄(訳)『商業論』	太田英一(著)『支那経済の構造』	北野大吉(著)『英国自由貿易運動史——反穀物法運動を中心として』	鈴木安蔵(著)『政治全書5』政党論——政党と国民的政治組織	武田泰淳(著)『東洋思想叢書10』司馬遷	吉川秀造(著)『明治維新社会経済史研究』	北岡寿逸(著)『政治全書6』人口政策	守隨憲治(著)『続日本古典読本9』歌舞伎	傍島省三(著)『理論経済学叢書・第一七編』貨幣価値の研究	富永祐治(著)『大阪商科大学研究叢書・第一四冊』交通学の生成——交通学説史研究	小野清造(著)『日本証券史論・上巻』	静田均(著)『カルテルと経済団体』	目加田誠(著)『東洋思想叢書8』詩経	海後宗臣・吉田昇(共著)『学生生活調査』……『経過報告』昭和16年〔1565〕	橋川時雄(著)『東洋思想叢書9』楚辭	イギリス王立国際問題調査会(著)・松本慎一(訳)『国際投資の諸問題』	福井勇二郎(訳編)『法学叢書4』仏蘭西法学の諸相

71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43			
[1719]	[1718]	[1717]	[1716]	[1715]	[1714]	[1713]	[1712]	[1711]	[1710]	[1709]	[1708]	[1707]	[1706]	[1705]	[1704]	[1703]	[1702]	[1701]	[1700]	[1699]	[1698]	[1697]	[1696]	[1695]	[1694]	[1693]	[1692]	[1691]			
		10												9							8				7						
10	10	10	1	20	20	20	20	20	20	20	20	11	5	1	30	30	21	10	10	1	1	30	25	15	10	30	25	20			
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C			
D	D	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	D	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)			
中村哲(著)『植民地統治法の基本問題』	日本学術振興会第四小委員会報告『時局と社会政策②』	南满洲鉄道株式会社調査部(編)『北支那の農業と経済(上巻)』	国策研究会(著)『大東亜問題調査会研究報告・第二巻』世界新秩序と交易新体制論』	大日本拓殖学会(編)『大日本拓殖学会年報・第一輯』大東亜政策の諸問題』(A・B・7月)	佐藤信衛(著)『近代科学・第二巻』技術小史』	黒羽兵治郎(著)『近世交通史研究』	信夫清三郎(著)『ラッフルズ——イギリス近代的植民政策の形成と東洋社会』	平野義太郎(著)『太平洋全集』民族政治学の理論』	戒能通孝(著)『入会の研究』	大石義雄(著)『法学叢書8』帝国憲法と財産制』	栗生武夫(著)『法学叢書7』入会の歴史・其他』	鈴木大拙(著)『(東洋思想叢書11) 禅の思想』	宮下忠雄(著)『神戸商業大学商業研究所・大東亜経済叢書・第二輯』支那戦時通貨問題一斑』	仁井田益太郎(解題)『法学叢書6』旧民法』	藤井茂(著)『神戸商業大学商業研究所・大東亜経済叢書・第一輯』大東亜計画貿易論』	戦時の独逸における』(A・B・なし)	リープマン(著)・小川太郎(訳)『法学叢書5』戦争の犯罪に及ぼせる影響——第一次世界大	大河内一男(編)『国民生活の課題』	波多野鼎(著)『(経済講話・第二巻) 生産・流通の機構』	情勢論』	幕末維新回想記』	塩尻清市(訳)『	杉本栄一(著)『統制経済の原理』	飯田藤次(著)『重慶インフレーションの研究』(A・B・6月)	古島敏雄(著)『(日本歴史学大系3) 近世日本農業の構造』……(第二版) 昭和23年[1892][1897]	青山道夫(著)『判例身分法研究』	国策研究会(著)『(大東亜問題調査会研究報告・第一巻) 大東亜共栄圏政治経済体制論』(A・なし)	西原寛一(著)『日本商法論・第一巻』……(第二版・改訂) 昭和25年[2130]	『新経済学全集(第一八回配本)』	『中山伊知郎』東畑精一(共編)『新経済学全集(第一八回配本)』	大河内一男(著)『ミスとリスト——経済倫理と経済理論』……(第二版) 昭和22年[1836]

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	
[1799]	[1798]	[1797]	[1796]	[1795]	[1794]	[1793]	[1792]	[1791]	[1790]	[1789]	[1788]	[1787]	[1786]	[1785]	[1784]	[1783]	[1782]	[1781]	[1780]	[1779]	[1778]	[1777]	[1776]	[1775]	
5	25		10	3	25	20	20	20	20	20	20	10		12	30	20	20	20	20	20	10	30	20	20	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	D	N	(D)	D	(D)	(D)	N	D	D	(D)	D	(D)	(D)	(D)	
増地庸治郎(著)『生産管理の理論』	中山伊知郎(著)『東畑精一(共編)『新経済学全集(第二〇回配本)』	土岐善磨(著)『田安宗武(第三册)』	除野信道(著)『日本評論叢刊7』支那事変軍票論……〔複製増補〕除野信道(著)『太平洋戦争日本軍票論』(株・学術選書、昭和53年)	五十嵐豊作(著)『国防政治の研究』	太平洋協会(編)・三森定男(著)『太平洋全書』ビルマ・シヤンの自然と民族』	小林宏志(著)『服部敏(共著)』(南太平洋叢書4)西ニューギニアの衛生事情(A・B:昭和19年11月)	大久保利謙(編)『西周全集・第一卷(百学連環・百学連環覚書・百一新論)』	杉山清(著)『泰國經濟の分析』	国策研究会(編)『大東亜問題調査会研究報告・第八卷(大東亜共栄圏技術体制論)(A:..なし)	竹内好(著)『東洋思想叢書18』魯迅』	大河内正敏(著)『日本評論叢刊6』航空機増産の方途』	稲村耕雄(著)『日本評論叢刊5』研究と動員』	後藤新平(著)・中村哲(解題)『明治文化叢書10』日本植民政策一斑——日本膨脹論』	国策研究会(編)『大東亜問題調査会研究報告・第七卷(大東亜共栄圏經濟交流体制論)(A:..なし)	坂本徳松(著)『東洋思想叢書19』ガンヂイ』	永積安明(著)『中世文学論——鎌倉時代篇』……〔改版〕昭和21年〔1819〕	移住の根本問題』	A・G・ブライス(著)・加藤源治(著)・桐谷信太郎(共訳)『太平洋協会(編)』(太平洋全書)熱帯	宮川米次(著)『日本評論叢刊4』戦争とマラリア』	大橋静市(著)『日本評論叢刊3』企業の国家性』	斎藤秀夫(著)『法学叢書15』戦争と民事訴訟法』	太平洋協会(編)・富士原清一(著)『太平洋全書』ニューヘブリディーズ諸島』	太平洋協会(編)・泉靖一(著)『南太平洋叢書3』西ニューギニアの民族』	柏木千秋(著)『国防保安法論』	B:昭和20年10月)

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	31	13	12	11		
[1823]	[1822]	[1821]	[1820]	[1819]	[1818]	[1817]	[1816]	[1815]	[1814]	[1813]	[1812]	[1811]	[1810]	[1809]	[1808]	[1807]	[1806]	[1805]	[1804]	[1803]	昭和21年(一九四六年)	[1802]	[1801]	[1800]		
10	10	11	30	20	5	10	10	5	8	30	25	25	20	1	15	25	20	4	25	2	昭和21年(一九四六年)	12	11	30		
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	昭和21年(一九四六年)	C	C	C		
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	昭和21年(一九四六年)	(D)	(D)	(D)		
<p>国策研究会(編)『大東亜共栄圏人口労務対策論』 大川一司(著)『食糧経済の理論と計測』 コーリン・クラーク(著)・金融経済研究会(訳)『金融経済研究叢書・第一輯』経済的進歩の諸条件』 蒋介石(著)・波多野乾一(訳)『日華叢書1』中国の命運』(A・B::3月) 清野謙次(著)『日本民族生成論』(A・B::6月) 『経済評論』一巻一号……『継続』(六巻六号(昭和26年6月)。(復刊)一巻一号(昭和27年1月) (四二巻五号(平成5年5月)。 立作太郎博士論行委員会(編)『立博士外交史論文集』(A・B::5月) 志田義秀(著)『芭蕉展望』(A・B::2月) 未弘敏太郎(著)『労働組合法解説』……〔改訂版〕昭和22年〔1803〕 中国研究所(編)『中国評論』一巻一号……『継続』(二巻二号(昭和22年2月) 八浜義和・上代昌(共著)『リグニンの化学』(A・B::9月) ゲオルグ・イェリネック(著)・美濃部達吉(訳)『法学叢書16』人権宣言論・外三篇』(A::なし、B::1月) 越村信三郎(著)『スミス経済学説——経済循環理論を中心として』(A・B::10月) 我妻栄(著)『中華民法総則』(A・B::8月) 東京商科大学一橋論叢編輯所(編)『一橋論叢』一六巻一・二号……〔前誌〕一巻一号(昭和13年1月)〜一五巻一号(昭和20年1月)の発行は岩波書店 大塚久雄(著)『近代欧洲経済史序説・上巻(第二版)』(A・B::なし)……〔初版〕昭和19年〔1749〕 土岐善磨(著)『田安宗武(第四冊)』 カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済学批判(第一部第一分冊)〔資本論1〕』(A・B::11月)……〔初版〕昭和12年〔1164〕 石山徹郎(著)『続日本古典読本12』漱石』(A・B::9月) 永積安明(著)『中世文学論——鎌倉時代篇(改版)』(A・B::なし)……〔初版〕昭和19年〔1783〕 本位田祥男(著)『経済の民主化』(A・B::11月) 河合栄治郎(編)『学生叢書』学生と歴史(第二版)』(A・B::なし)……〔初版〕昭和15年〔1411〕 美濃部達吉(著)『議会制度論(第二版)』(A・B::12月)……〔初版〕昭和5年〔698〕 古島敏雄(著)『日本農学史・第一巻』</p>																										

22	[1824]	12・1	C・(D)	カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済学批判(第一部第二分冊)〔資本論2〕〕……〔初版〕昭和12年〔1211〕
23	[1825]	5	C・D	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第一巻 社会思想家評伝〕……〔初版〕昭和11年〔1091〕
24	[1826]	5	C・(D)	ブレッシアーニ・トウローニ(著)・大内兵衛(抄述)『インフレーションの経済学——マルクスの下落に関する研究』
25	[1827]	9	N	岩淵辰雄(著)『敗る、日まで』(A・B:なし)
26	[1828]	15	C・D	立作太郎(著)『世界外交史——太古より第一次世界大戦まで』
27	[1829]	15	C・(D)	小池基之(著)『(経済全書12) 日本農業と水田(第二版)〕……〔初版〕昭和17年〔1569〕
28	[1830]	20	C・(D)	岡野鑑記(著)『第一次大戦における賠償及戦債問題』(A・B:昭和22年1月)
29	[1831]	20	C・(D)	近藤康男(著)『日本農業経済論(第二版)』(A・B:昭和22年1月)……〔初版〕昭和17年〔1632〕
32 昭和22年(一九四七年)				
1	[1832]	1・15	C・(D)	山中康雄(著)『(法学叢書17) 市民社会と民法(総則・物権・債権)』
2	[1833]	15	C・(D)	河合栄治郎(著)『(河合栄治郎選集・第二巻) 第一学生生活(第二版)〕……〔初版〕昭和10年〔1025〕、〔第二版〕昭和12年〔1169〕
3	[1834]	2・1	C・N	民主主義科学者協会哲学部(編)『(理論) 創刊号……〔継続〕——三巻三号。三巻四号より民主主義科学者協会(四巻六号(昭和25年6月)で廃刊)。
4	[1835]	5	C・(D)	佐藤信衛(著)『(巻一)——論理学新講』
5	[1836]	3・1	C・(D)	大河内一男(著)『(スミスとリスト——経済倫理と経済理論(第二版)』(A・B:なし)……〔初版〕昭和18年〔1691〕
6	[1837]	10	C・(D)	日華学芸懇話会(訳編)・波多野乾一(訳)『(日華叢書2) 毛沢東選集(上巻)』
7	[1838]	15	C・D	池上謙三(著)『(論理学(第二版)〕……〔初版〕昭和9年〔943〕
8	[1839]	4	C・(D)	本庄栄治郎(著)『(日本経済思想史研究・続編)……〔正編〕昭和17年〔1619〕
9	[1840]	15	C・(D)	高橋幸八郎(著)『(近代社会成立史論——欧洲経済史研究)』
10	[1841]	15	C・(D)	三木清(編)『(現代哲学辞典(第二版)』(A・B:なし)……〔初版〕昭和11年〔1113〕、〔新版・改定再版〕昭和16年〔1481〕
11	[1842]	5・20	C・(D)	高田保馬(著)『(経済学原理) (A・B:7月)』
12	[1843]	25	C・(D)	高橋善哉(著)『(アダム・スミスの市民社会体系)』
13	[1844]	6	C・(D)	近藤康男(著)『(戦後の農業問題)』
14	[1845]	10	C・(D)	ハインリヒ・ハイネ(著)・井波越次(訳)『(世界古典文庫3) アッター・トルル・真夏の夜の夢』

15	[1846]	15	C・D	孫中山(著)・沈觀鼎(訳)『日華叢書3』三民主義
16	[1847]	25	C・D	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第三卷』社会政策原理(第二版) (A・B:7月) …… [初版] 昭和6年 [756]、[改訂] 昭和10年 [1010]
17	[1848]	7・1	C・D	中国研究所(著)『季刊・中国研究』一号 …… [後誌] 一四号より出版社は中国研究所。一六号(昭和27年9月)
18	[1849]	5	C・D	チドロ(著)・杉捷夫(訳)『世界古典文庫4』ダランベールの夢
19	[1850]	10	C・D	尾崎行雄(著)『読本シリーズ』民主政治読本 (A・B:8月)
20	[1851]	10	C・D	穂積重遠(著)『法学通論(第二版)』…… [初版] 昭和16年 [137]、[第二版] 昭和24年 [1983]
21	[1852]	15	C・D	美濃部達吉(著)『新憲法逐条解説』…… [復刻版] 平成28年9月
22	[1853]	15	C・D	佐藤功(著)『憲法改正の経過』(A・B:8月)
23	[1854]	20	C・N	ランスロット・ホグベン(著)・今野武雄(訳)『市民の科学3』
24	[1855]	25	C・D	麻生慶次郎(著)『土壌と肥料(第三版)』『市民の科学3』
25	[1856]	8・1	C・D	昭和13年 [1289]、[第四版] 昭和23年 [1947]
26	[1857]	1	C・D	風早八十二(著)『日本社会政策史(第二版)』(A・B:なし) …… [初版] 昭和12年 [1214]
27	[1858]	20	C・D	ロバート・オウエン(著)・本位田祥男・五島茂(共訳)『世界古典文庫1・2』自叙伝(上)(下) (A・B:9月)
28	[1859]	30	C・D	大河内一男(著)『社会政策の基本問題・第三版』(A・B:なし) …… [初版] 昭和15年 [1436]、[増訂版] 昭和19年 [1739]
29	[1860]	9・1	C・D	アレクサンデル・ゲルツェン(著)・金子幸彦(訳)『世界古典文庫12』過去と思索(一)』
30	[1861]	1	C・D	トマス・トゥック(著)・玉野井芳郎(訳)『世界古典文庫5』通貨原理の研究』(A・B:10月)
31	[1862]	5	C・N	大阪商科大学経済研究所(編)『社会科学文献解説』六号 …… [出版] 二号(昭和23年8月)・村上広栄堂、三号・蘭書房、四号・五号・始生社、六号・九号・日本評論社、一〇号・日本評論新社
32	[1863]	5	C・D	本位田祥男(著)『英国経済史要(第三版)』(A・B:なし) …… [初版] 昭和3年 [158]、[改訂版] 昭和13年 [1255]
33	[1864]	5	C・D	サミュエル・ペイリー(著)・鈴木鴻一郎(訳)『世界古典文庫9』リカアド価値論の批判』(B:なし) …… [初版] 昭和16年 [1335]
34	[1865]	5	C・D	J・H・チウネン(著)・近藤康男(訳)『世界古典文庫10』農業と国民経済に関する孤立国(第一卷)』…… [初版] 昭和16年 [1615]
				J・H・チウネン(著)・近藤康男(訳)『世界古典文庫11』農業と国民経済に関する孤立国(第二卷)』…… [初版] 昭和16年 [1615]

7	[1886]	20	C・(D)	二版) 昭和20年2月15日、〔第四版〕昭和24年〔2009〕
8	[1887]	30	C・(D)	森田優三(著)『統計学汎論』(A・B:2月)……〔初版〕昭和15・16年『統計学汎論(一)』(四・完)、『新経済学全集(第一三回配本)』(第一七回配本)〔1461〕〜〔1531〕
9	[1888]	2・10	C・(D)	古島敏雄(著)『近世日本農業の構造(第二版)(下巻)』(A・B:なし)……〔初版〕昭和18年〔1886〕、〔改版〕昭和24年12月
10	[1889]	15	C・(D)	カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論 経済学批判(第二部第一分冊)』(資本論5)
11	[1890]	15	C・D	平野義太郎(著)『平野義太郎論文集・第一巻』ブルジョア民主主義革命——その史的発展』
12	[1891]	20	C・(D)	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第四巻』英国社会主義史研究』
13	[1892]	3・1	C・D	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第五巻』在欧通信』(A・B:3月)
14	[1893]	1	C・(D)	E・T・A・ホフマン(著)・石川道雄(訳)『世界古典文庫24』ちびつアツヒエス——後のチンノオベル』(A・B:2月)……〔発行者〕鈴木三男吉
15	[1894]	20	C・(D)	サン・シモン(著)・大塚幸男(訳)『世界古典文庫34』ジュネーヴ人の手紙・他三篇』(A・B:2月)
16	[1895]	4・1	C・(D)	清水三男(著)『日本中世の村落(第二版)』(A・B:2月)……〔初版〕昭和17年〔1627〕
17	[1896]	10	C・(D)	大内力(著)『日本資本主義の農業問題』(A・B:3月)
18	[1897]	10	C・(D)	井上正蔵(訳)『世界古典文庫25』フライリヒラート詩集』
19	[1898]	10	C・(D)	ランスロット・ホグベン(著)・今野武雄・石村幸四郎(訳)『市民の科学4』
20	[1899]	20	C・D	石山徹郎(著)『芸文論』
21	[1900]	20	C・(D)	穂積重遠(著)『読本シリウス』新民法読本』……〔旧版初版〕昭和2年〔386〕
22	[1901]	20	C・(D)	迫間眞治郎(著)『社会主義経済の理論』
23	[1902]	20	C・D	大道安次郎(著)『スミス経済学の生成と発展(第二版)』(A・B:なし)……〔初版〕昭和15年〔1460〕
24	[1903]	5・1	C・(D)	フランシス・ベイコン(著)・中橋一夫(訳)『世界古典文庫48』ニュー・アトランチス』
25	[1904]	10	C・(D)	シチエドリン(作)・西尾章二(訳)『世界古典文庫55』僻地の旧習(一)』
26	[1905]	20	C・(D)	住谷悦治(著)『日本経済学史の一齣——社会政策学会を中心として』
27	[1906]	20	C・D	戸田武雄(著)『ウェーバーとゾムバルト』
28	[1907]	20	C・(D)	田中正造(著)・林広吉(解題)『明治文化叢書』晩年の日記』(A・B:4月)
29	[1908]	20	C・(D)	チェルヌイシェーフスキー(著)・石山正三(訳)『世界古典文庫37』現実に対する芸術的美学的関係』
30	[1909]	20	C・(D)	サン・シモン(著)・高木暢哉(訳)『世界古典文庫38』産業者の政治的教理問答』(A・B:6月)
31	[1910]	30	C・(D)	巽博一(著)『ケインズ雇傭理論の分析——貨幣経済の限界』
				小野武夫博士還暦記念論文集刊行会(編)『小野武夫博士還暦記念論文集 東洋農業経済史研究』

57	1936	10	C・D	永積安明(著)『続日本古典読本5 太平記』(A・B・9月)
58	1937	15	C・D	カール・マルクス(著)・フリドリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済学批判(第二部第三分冊)』[資本論7]
59	1938	20	C・D	美濃部達吉(著)『法の本質(法学叢書21) 法の本質』……[初版]昭和10年[1027]、[復刻版法学叢書]昭和23年11月
60	1939	20	C・D	平野義太郎(著)『平野義太郎論文集・第二卷 農業問題と土地変革』
61	1940	20	C・D	クルイローフ(作)・吉原武安(訳)『世界古典文庫42』寓話(下)』
62	1941	25	C・D	有沢広巳(著)『インフレーションと社会化』
63	1942	25	C・D	総理府統計局(編)『消費者価格調査報告(昭和二三年八月分)』
64	1943	30	C・D	福武直(著)『社会学の現代的課題』
65	1944	30	C・D	F・シルラア(作)・久保栄(訳)『世界古典文庫49』群盗』(A・B・11月)
66	1945	30	C・D	M・レールモントフ(作)・北垣信行(訳)『世界古典文庫54』ムツイリ・悪魔』(A・B・11月)
67	1946	11	C・D	戒能通孝(著)『法律社会学の諸問題(第二版)』(A・B・なし)……[初版]昭和18年[1633]
68	1947	10	C・D	麻生慶次郎(著)『土壌と肥料(第四版)』(A・B・なし)……[初版]昭和8年[394]、[改訂版]昭和13年[1289]、[第三版]昭和22年[1835]
69	1948	10	C・D	F・ギゾー(著)・安土正夫(訳)『世界古典文庫40』ヨーロッパ文明史(下)』
70	1949	10	C・D	アダム・スミス(著)・水田洋(訳)『世界古典文庫86』国富論草稿』
71	1950	20	C・D	古在由重(著)『五つの省察』(A・B・12月)
72	1951	12	C・D	本位田祥男(著)『商工協同組合』(A・B・11月)
73	1952	1	C・D	河合栄治郎(著)・石上良平(解説)『唯一筋の路』(A・B・11月)
74	1953	1	C・D	近藤忠義(著)『近世文学論』(A・B・11月)
75	1954	1	C・D	デイヴィッド・リカアドウ(著)・吉田秀夫(訳)『世界古典文庫72』農業保護政策批判』(A・B・11月)
76	1955	10	C・D	ギヤスケル夫人(作)・北沢孝一(訳)『世界古典文庫52』メアリ・バートン——マンチエスタ物語(上)』
77	1956	10	C・D	レッスンク(作)・浅井真男(訳)『世界古典文庫68』賢人ナータン』(A・B・11月)
78	1957	20	C・D	本庄栄治郎(著)『日本社会経済史概説』
79	1958	20	C・D	守屋典郎(著)『紡績生産費分析』
80	1959	20	C・D	井上政次(著)『天和古寺(第二版)』……[初版]昭和16年[1336]
81	1960	25	C・D	金子幸彦(著)『ブーシキン——伝記』(A・B・昭和24年1月)

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
[1987]	[1986]	[1985]	[1984]	[1983]	[1982]	[1981]	[1980]	[1979]	[1978]	[1977]	[1976]	[1975]	[1974]	[1973]	[1972]	[1971]	[1970]	[1969]	[1968]	[1967]	[1966]	[1965]	[1964]	[1963]	[1962]	[1961]
	4					3										2									1	
1	1	30	20	20	10	10	10	10	10	10	10	10	1	1	1	1	1	20	20	20	20	20	10	10	10	5
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	N	(D)	(D)	D	D	(D)	N	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	D	(D)
我妻栄(著)『改正親族・相続法解説』(A・B・昭和23年12月)	服部之総(著)『新文化叢書1』近代日本のなりたち	総理庁統計局(編)『消費者価格調査(C.P.S.)による家計支出の分析』	永積安明(著)『続日本古典読本6』平家物語(改訂版)……〔初版〕昭和15年〔1428〕	戸沢鉄彦(著)『新文化叢書2』イギリス政治思想史	カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済学批判(第三部第一分冊)〔資本論8〕』	小場瀬卓三(著)『モリエール——時代と思想』	八杉龍一(編)『ソヴェートの科学』	竹脇潔(著)『新文化叢書3』性とホルモン』(A・B・1月)	フランコ・サツケッテイ(著)・杉浦明平(訳)『世界古典文庫59』フイレンツェの人々(上)』	ロオドベルトウス(著)・平瀬巳之吉(訳)『世界古典文庫83』資本』(A・B・1月)	カアペンター(著)・石川三四郎(訳)『世界古典文庫87』文明——その原因および救済』	ドブリューボフ(著)・石山正三(訳)『世界古典文庫95』闇の王国』(A・B・1月)	梯明秀(著)『社会の起源』(A・B・1月)	山中康雄(著)『法学叢書18』市民社会と親族身分法』	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第六卷』社会思想史研究』	栗原百寿(著)『日本農業の発展構造』	福島要一(著)『作物の生活』	ラッサール(著)・猪木正道(訳)『世界古典文庫88』学問と労働者』(A・B・1月)	小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第三卷』	尾高朝雄『法哲学概論』	飯塚浩二(著)『人文地理学説史——方法論のための学説史的反省』	石本雅男(著)『法学叢書22』法人格の理論と歴史』	ホップス(著)・水田洋(訳)『世界古典文庫62』リヴァイアサン(一)』	中山伊知郎(著)『全訳註解・クルノー数理経済学』	シチェドリン(作)・西尾章二(訳)『世界古典文庫56』僻地の旧習(一)』	クラランジュ(著)・明比達朗(訳)『世界古典文庫96』古代フランス土地制度論(上)』(A・B・3月)

28	[1988]	C・D	20	20	20	穂積重遠(著)『法学通論(全訂版)』……〔初版〕昭和16年〔1937〕、〔第二版〕昭和22年〔1947〕
29	[1989]	C・(D)	20	20	20	モレリイ(著)・小牧近江・桐山隆彦(共訳)『世界古典文庫85』自然の法典
30	[1990]	C・(D)	20	20	20	渡辺義通・平野義太郎・大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第一回配本)』……藤間生大(著)『政治的社會の成立』／平瀬巳之吉(著)『官人支配と国家的土地所有』／鈴木良一(著)『純粹封建制成立における農民闘争』
31	[1991]	C・(D)	20	20	20	シラー(著)・野島正城(訳)『世界古典文庫82』素朴文学と情感文学について
32	[1992]	C・N	20	20	20	チェルリニ(著)・黒田正利(訳)『世界古典文庫89』自叙伝(上)』
33	[1993]	C・(D)	20	20	20	グリボイエドフ(作)・小川亮作(訳)『世界古典文庫91』智慧の悲しみ
34	[1994]	C・(D)	10	5・10	10	カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済学批判(第三部第二分冊)〔資本論9〕』
35	[1995]	C・(D)	10	10	10	原田三郎(著)『イギリス資本主義の研究——特にその世界経済的断面』(A・B:4月)
36	[1996]	C・(D)	10	10	10	総理府統計局(編)『常住人口調査報告(昭和三三年)』
37	[1997]	C・N	10	10	10	小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第七卷』
38	[1998]	C・(D)	20	20	20	ギヤスケル夫人(作)・北沢孝一(訳)『世界古典文庫53』メアリ・バートン——マンチェスタ物語(下)』
39	[1999]	C・(D)	20	20	20	ヘンリー・ジョージ(著)・長洲一二(訳)『世界古典文庫66』進歩と貧困』
40	[2000]	C・(D)	20	20	20	玉木英彦・田島英三(共著)『新文化叢書6』物質——その窮極構造』
41	[2001]	C・(D)	20	20	20	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第七卷』トーマス・ヒル・グリーン(の)思想体系(上)』……〔初版〕昭和5年(1966)、『改装(台冊)版』昭和13年〔1934〕
42	[2002]	C・(D)	1	6・1	1	本田喜代治(著)『近代フランス社会思想の成立』(A・B:5月)
43	[2003]	C・(D)	10	10	10	中村哲(著)『国法学の史的研究』
44	[2004]	C・N	10	10	10	ヴォルテル(著)・川西良三(訳)『世界古典文庫47』イギリス便り』
45	[2005]	C・(D)	10	10	10	オストロフスキー(作)・石山正三(訳)『世界古典文庫114』どんな賢人にもぬかりはある』
46	[2006]	C・(D)	10	10	10	加茂儀一(著)『新文化叢書4』ルネサンスとヒューマンイズム』
47	[2007]	C・(D)	20	20	20	末川博(著)『法学叢書11』権利侵害論(第二版)』……〔初版〕昭和19年〔1935〕
48	[2008]	C・(D)	20	20	20	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第九卷』明治思想史の一断面——金井延を中心として』……〔初版〕昭和16年〔1936〕
49	[2009]	C・(D)	20	20	20	杉本栄一(著)『近代経済学的基本性格——近代性の研究』
50	[2010]	C・(D)	20	20	20	大内力(著)『日本農業の論理』
51	[2011]	C・(D)	20	20	20	デイドロ(著)・小場瀬卓三(訳)『世界古典文庫98』ラモーの甥(モンヴァル版)』
52	[2012]	C・(D)	25	25	25	田畑忍(著)『憲法学の基本問題』
53	[2013]	C・N	30	30	30	小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第九卷』(A・B:7月)

80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	
[2040]	[2039]	[2038]	[2037]	[2036]	[2035]	[2034]	[2033]	[2032]	[2031]	[2030]	[2029]	[2028]	[2027]	[2026]	[2025]	[2024]	[2023]	[2022]	[2021]	[2020]	[2019]	[2018]	[2017]	[2016]	[2015]	[2014]	
10	10	1	1	1	1	1	9	20	20	20	20	20	20	20	15	20	20	20	20	20	20	15	1	1	1	7	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	
ルートヴィヒ・ベルネ(著)・道家忠道(訳)『世界古典文庫109』パリだより(上)』	豊崎稔(著)『日本機械工業の基礎構造』……『初版』昭和16年[1946]	児島邦夫(著)『新文化叢書8』分子のりんかく』(A・B・8月)	大河内一男(著)『独逸社会政策思想史(上)』……『初版』昭和11年[1906]	タレーランジュ(著)・明比達朗(訳)『世界古典文庫97』古代フランス土地制度論(下)』	田辺振太郎(著)『自然弁証法研究』(A・B・8月)	小林良正(著)『日本資本主義の生成とその基盤』(A・B・8月)	青山秀夫(著)『経済変動理論の研究・第一巻(基礎的諸問題)』	泉三義(著)『インフレーションと生産構造』	八杉龍一(著)『新文化叢書7』ラマルクからダーウインへ』(A・B・9月)	供との往復書簡』	ベッティーナ・フォン・アルニム(著)・竹内英之助(訳)『世界古典文庫120』ゲーテとある子	矢口孝次郎(著)『イギリス封建社会経済史』	アレクサンドル・ゲルトゥン(著)・金子幸彦(訳)『世界古典文庫13』過去と思索(二)』	末弘巖太郎(著)『続・民法雑記帳』	ボッカチオ(著)・柏熊達生(訳)『世界古典文庫117』封鎖商業国家論』	ファイヒテ(著)・出口勇蔵(訳)『世界古典文庫115』経済学批判』	カール・マルクス(著)・宇高基輔(訳)『世界古典文庫111』	レッシング(作)・山下肇(訳)『世界古典文庫93』寓話・諷刺詩集』	ドブロリユーボフ(著)・重石正巳・石山正三(共訳)『世界古典文庫58』打ちのめされた人々』	松村一人(著)『唯物論と主体性論』	服部英太郎(著)『ドイツ社会政策論史・上(社会民主主義の崩壊とファシズムの台頭)』	T・ハックスリ(著)・八杉龍一・小野寺好之(共訳)『世界古典文庫119』自然に於ける人間の位置』	ツルゲーネフ(作)・馬場哲哉(訳)『世界古典文庫73』貴族の巢』(A・B・6月)	石田憲次(著)『英国国民性と文学』(A・B・6月)	新における指導と同盟』清水盛光(著)『中国の郷村統治と村落』村川堅太郎(著)『羅馬大土地所有制』	渡辺義通・平野義太郎・大家久雄(共編)『社会構成史体系(第二回配本)』……服部之総(著)『明治維	シャルル・フーリエ(著)・副田満輝(訳)『世界古典文庫112』四運動の理論(上)』(A・B・6月)

81	[2041]	10	C・(D)	J・S・ミル(著)・末永茂喜(訳)『世界古典文庫133』経済学原理(一)』
82	[2042]	15	C・(D)	レッシング(著)・野島正城・高橋義孝・小宮曠三(共訳)『世界古典文庫94』エミリア・ガロツ テイ・他二篇』
83	[2043]	20	C・(D)	渡辺義通・平野義太郎・大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第三回配本)』……堀江英一(著)『封 建社会における資本の存在形態』/重沢俊郎(著)『古代諸思潮の成立と展開』/田中正義(著)『封 建的土地所有の成立過程』
84	[2044]	20	C・(D)	河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第八卷』トーマス・ヒル・グリーンの思想体系(下)』……〔初 版〕昭和5年〔84〕、〔改装(合冊)版〕昭和13年〔144〕
85	[2045]	20	C・(D)	戸谷敏之(著)『近世農業経営史論』
86	[2046]	20	C・(D)	レッシング(作)・井上正蔵(訳)『世界古典文庫92』ミンナ・フォン・バルンヘルム(喜劇五幕)』
87	[2047]	30	C・N	小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第六卷』
88	[2048]	10	C・N	ランスロット・ホグベン(著)・高宮篤(訳)『市民の科学5』
89	[2049]	1	C・(D)	篠田軍治・井形厚臣(共著)『精密測定学』(A・B・9月)
90	[2050]	1	C・(D)	フランコ・サッケッティ(著)・杉浦明平(訳)『世界古典文庫60』フィレンツェの人々(中)』 (A・B・9月)
91	[2051]	1	C・(D)	石田憲次(著)『新文化叢書5』フランクリン』(A・B・9月)
92	[2052]	10	C・(D)	古島敏雄(編)『山村の構造』(A・B・9月)
93	[2053]	10	C・(D)	バイロン(作)・小川和夫(訳)『世界古典文庫118』自我の人——マンフレッド』
94	[2054]	15	C・(D)	フリードリッヒ・リスト(著)・小林昇(訳)『世界古典文庫132』農地制度・零細経営および国外移住』
95	[2055]	20	C・(D)	木下彰(著)『日本農業構造論』(B・昭和25年4月)
96	[2056]	20	C・(D)	小野武夫博士還暦記念論文集刊行会(編)『小野武夫博士還暦記念論文集』日本農業経済史研究(下)』
97	[2057]	25	C・(D)	菅井準一(著)『新文化叢書9』嵐の中の科学者——フランクとアインシュタイン』
98	[2058]	30	C・(D)	ビューヒネル(作)・井汲越次(訳)『世界古典文庫107』ダントンの死・他二篇』
99	[2059]	11	C・(D)	鈴木圭介(著)『アメリカ経済史研究序説』(A・B・10月)
100	[2060]	1	C・N	三菱経済研究所(編)『日本産業経済総覧(昭和二十四年度版)』(A・B・昭和25年4月)……〔発 行兼編集者〕(発行所)三菱経済研究所、(発売所)日本評論社
101	[2061]	5	C・(D)	渡辺義通・平野義太郎・大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第四回配本)』……林基(著)『近 世における階級闘争の諸形態』/小林良正(著)『東南アジア社会の一類型——インドネシア社 会構成史』/堀米庸三(著)『中世国家の構造』
102	[2062]	5	C・(D)	栗村雄吉(著)『経済測定学』(A・B・10月)

125124123122121120119118117116	115114	113112	111110	109108107106	105104103
[2076] [2077] [2078] [1979] [2080] [2081] [2082] [2083] [2084] [2085]	[2074] [2075]	[2072] [2073]	[2070] [2071]	[2066] [2067] [2068] [2069]	[2063] [2064] [2065]
25 25 20 20 20 20 15 10 10 5	5 5	12 5 30	20 15	10 10 5 5	5 5 5
C · C · C · C · C · C · C · C · C · C · (D) (D) (D) N (D) (D) (D) (D) N	C · C · (D) N	C · C · (D) N	C · C · (D) (D)	C · C · C · C · N (D) (D) (D)	C · C · C · (D) (D) (D)
近藤康男(著)『農業簿記学(改版)』(A・一〇月、B・なし)……〔初版〕昭和13年〔1238〕 児玉花外(著)・岡野他家夫(解題)『明治文化叢書』社会主義詩集』(A・B・10月) ディッケンズ(作)・平田禿木(訳)・島田謹二(校訂)『世界古典文庫43』デエイヴィッド・カッ パフィールド(一)』(A・B・10月) ハズリット(著)・神吉三郎(訳)『世界古典文庫99』時代の精神』(A・B・10月) ドルバック(著)・高橋安光・三宅徳嘉(共訳)『世界古典文庫104』自然の体系(上)』(A・B・10月) イェーリング(著)・潮見俊隆・唄孝一(共訳)『世界古典文庫124』法における目的』 中山伊知郎(著)『経済学一般理論(第四版)』(A・B・なし)……〔初版〕昭和19年〔1769〕〔第 二版〕昭和20年2月15日、〔第三版〕昭和22年〔1885〕 平野義太郎(著)『平野義太郎論文集・第三卷』日本資本主義の構造』(A・B・10月) カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済 学批判(第三部第三分冊)』〔資本論10〕』 小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第一卷』 渡辺義通・平野義太郎・大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第五回配本)』……藤田五郎(著)『近世にお ける農民層の階級分化』信夫清三郎(著)『自由民権と絶対主義』岩村忍(著)『中国回教社会の構造(上)』 吉田耕作(著)『物理数学概論』(A・B・11月) ディッケンズ(作)・平田禿木(訳)・島田謹二(校訂)『世界古典文庫44』デエイヴィッド・カッ パフィールド(二)』(A・B・11月) 原島鮮(著)『熱力学』(A・B・11月) シスモンチ(著)・菅間正朔(訳)『世界古典文庫139』経済学新原理(上)』 フォンヴェイジン(著)・除村ヤエ(訳)『世界古典文庫84』親がかり』 シチエドリン(作)・西尾章二(訳)『世界古典文庫57』僻地の旧習(三)』 五島茂(著)『イギリス産業革命社会史研究』 東井金平(著)『米国農政問題研究』 名和統一(著)『国際価値論研究』 内山敏(著)『新文化叢書10』アナトオル・フランス』 ホーマア・レイン(著)・小此木真三郎(訳)『親と教師に語る——子どもの世界とその導きかた』 エルヴェシウス(著)・根岸国孝(訳)『世界古典文庫69』人間論(上)』	小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第一卷』 渡辺義通・平野義太郎・大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第五回配本)』……藤田五郎(著)『近世にお ける農民層の階級分化』信夫清三郎(著)『自由民権と絶対主義』岩村忍(著)『中国回教社会の構造(上)』 吉田耕作(著)『物理数学概論』(A・B・11月) ディッケンズ(作)・平田禿木(訳)・島田謹二(校訂)『世界古典文庫44』デエイヴィッド・カッ パフィールド(二)』(A・B・11月) 原島鮮(著)『熱力学』(A・B・11月) シスモンチ(著)・菅間正朔(訳)『世界古典文庫139』経済学新原理(上)』 フォンヴェイジン(著)・除村ヤエ(訳)『世界古典文庫84』親がかり』 シチエドリン(作)・西尾章二(訳)『世界古典文庫57』僻地の旧習(三)』 五島茂(著)『イギリス産業革命社会史研究』 東井金平(著)『米国農政問題研究』 名和統一(著)『国際価値論研究』 内山敏(著)『新文化叢書10』アナトオル・フランス』 ホーマア・レイン(著)・小此木真三郎(訳)『親と教師に語る——子どもの世界とその導きかた』 エルヴェシウス(著)・根岸国孝(訳)『世界古典文庫69』人間論(上)』				

24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
[2109]	[2108]	[2107]	[2106]	[2105]	[2104]	[2103]	[2102]	[2101]	[2100]	[2099]	[2098]	[2097]	[2096]	[2095]	[2094]	[2093]	[2092]	[2091]	[2090]	[2089]	[2088]	[2087]	[2086]	
1	1	1	4 1	20	20	15	15	1	3 1	25	20	20	15	15	10	10	1	1	1	2 1	25	10	1 10	
C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	C (D)	
岡倉古志郎(著)『新文化叢書12』パレスチナ物語	河野健二(著)『絶対主義の構造』(A・B・3月)	松田智雄(著)『イギリス資本と東洋——東洋貿易の前期性と近代性』	戒能通孝(著)『暴力——日本社会のファシズム機構』(A・B・3月)	小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第四卷』	東京大学社会科学研究所(編)『学術研究会議民主主義研究特別委員会第四部研究報告』戦後労働組合の実態……〔注〕大河内一男(編)『戦後労働組合の実態』(昭和25年7月)	レオポルト・インフェルト(著)・市井三郎(訳)『真実の探求——科学者の生長』	大河内一男(編)『戦後社会の実態分析』(A・B・2月)	デカルト(著)・小場瀬卓三(訳)『世界古典文庫148』方法序説	渡辺義通⇨平野義太郎⇨大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第六回配本)』(A・B・2月)……石母田正(著)『古代末期の政治過程および政治形態(上)』/林健太郎(著)『プロシア農業改革とユニカー経営の発展』/岩村忍(著)『中国回教社会の構造(下)』	波多野鼎(著)『全訂・経済学入門』……〔初版〕昭和12年〔114〕、〔改訂版〕昭和12年〔208〕、〔第二版〕昭和15年〔140〕	青山秀夫(著)『経済理論の一般的基礎』	穂積重遠⇨海野普吉(共編)『家庭の法律百科』	ヘロドトス(著)・青木巖(訳)『世界古典文庫141』歴史(一)』	馬場啓之助(編)『蚕糸業の経済的分析(農林省農業総合研究所叢書・第一号)』	ゴーゴリ(作)・横田瑞穂⇨蔵原惟人(訳)『世界古典文庫147』狂人日記・外三篇	パフィールド(三)』	高田保馬(著)『社会学大意』(A・B・1月)	ドイツケニス(作)・平田禎木(訳)・島田謹二(校訂)『世界古典文庫45』デエイヴィッド・カッ	山中康雄(著)『法の羈束力的権威』(A・B・1月)	アルウィン・エッチ・ハンセン(著)・都留重人(訳)『財政政策と景気循環』	シスモンチ(著)・菅間正朔(訳)『世界古典文庫140』経済学新原理(下)』(A・B・1月)	橋樸(著)『中国革命史論』	レールモントフ(著)・北垣信行(訳)『世界古典文庫146』現代の英雄』	石本雅男(著)『法学叢書23』不法行為論』……〔増補版〕昭和42年4月

48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	
[2133]	[2132]	[2131]	[2130]	[2129]	[2128]	[2127]	[2126]	[2125]	[2124]	[2123]	[2122]	[2121]	[2120]	[2119]	[2118]	[2117]	[2116]	[2115]	[2114]	[2113]	[2112]	[2111]	[2110]	
30	30	30	30	25	25	20	15	15	1	1	25	20	15	15	1	5	30	30	25	15	15	5	1	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	N	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	N	(D)	(D)	
<p>青山秀夫(著)『京都大学経済学会研究叢書・第四輯 経済変動理論の研究・第二巻』(A・B・3月) 東京大学社会科学研究所(編)『社会科学研究』二巻一号 土方成美(著)『経済学総論』 森有正(著)『新文化叢書13』思想の自由と人間の責任 坂西志保(著)『アメリカの良心——ルーズベルト夫人伝』 宮沢俊義ほか(著)『法律思想家評伝』 たかはし・しんいち・まつしま・えいいち・みやもり・しげる(著)『日本の国ができるまで——目で見える日本史』(A・B・3月) 渡辺義通・平野義太郎・大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第七回配本)』(A・B・4月) ……石母田正(著)『古代末期の政治過程および政治形態(下)』/菊池謙一(著)『アメリカの奴隸制度と近代社会の成長』/尾崎庄太郎(著)『中国農村社会の近代化過程』 ランスロット・ホグベン(著)・盛健志・乾孝(訳)『市民の科学6』 川島武宜(著)『法社会学に於ける法の存在構造』 羽仁説子・松田道雄(共編)『新しい育児百科』 原島鮮(著)『物理学(上)』 Thomas L. Bakenore, <i>The criminal code of Japan</i> (トーマス・エル・ブレイクモア(著)『英訳日本刑法』) 『法律学体系第一部コンメンタール篇(第一回配本)』……我妻栄・有泉亨(著)『民法総則・物権法(コンメンタール篇2民法1)』(A・B・5月) J・B・セー(著)・中野正(訳)『世界古典文庫131』恐慌に関する書簡 『法律学体系第二部法理学論篇(第一回配本)』……鈴木安藏(著)『日本憲法史』/戒能通孝(著)『法廷技術』/横田喜三郎(著)『国際組織の発展』 『法律学体系第三部法律講話篇(第一回配本)』……川島武宜・来栖三郎・磯田進(著)『家族法講話』アレクサンデル・ゲルトゥエン(著)・金子幸彦(訳)『世界古典文庫14』過去と思索(三)』 アメリカ合衆国戦略爆撃調査団(編)・正木千冬(訳)『日本戦争経済の崩壊——戦略爆撃の日本戦争経済に及ぼせる諸効果』 思想の科学研究会(編)・都留重人(監修)『アメリカ思想史(第巻)』 西原寛一(著)『日本商法論・第一巻(第二版・改訂)』……『初版』昭和18年〔1693〕 ミシユレー(著)・後藤達雄・後藤喜久雄(共訳)『世界古典文庫74』フランス革命史(一)』 ゲーテ(作)・浅井真男(訳)『世界古典文庫150』ヴィルヘルム・マイステルの修業時代(上)』 アーヴィンキング(作)・田代三千稔(訳)『世界古典文庫153』スケッチ・ブック(上)』</p>																								

49	[2134]						レオポルト・インフェルト(著)・市井三郎(訳)『神々の愛でし人——世紀の数学者エヴァリスト・ガロアの生涯』
50	[2135]	7					蛭山政道(著)『行政学講義序論』
51	[2136]	10	10				山口隆二(著)『日本の時計——徳川時代の和時計の研究(改訂第二版)』(A・B:なし)……〔初版〕昭和17年〔1936〕
52	[2137]	15					木内政蔵⇨金原寿郎(共編)『物理実験』
53	[2138]	30					『法律学体系第一部コンメンタール篇(第二回配本)』……広瀬武文(著)『借地借家法(コンメンタール篇19)』(A・B:8月)
54	[2139]	30					鈴木竹雄⇨石井照久(共著)『改正株式会社法解説』(A・B:8月)
55	[2140]	30					小林多喜二全集刊行会(著)・新日本文学会(編)『小林多喜二全集・第五卷』
56	[2141]	15	8				服部之総(著)『明治の革命』
57	[2142]	20					近藤康男(編)『疏安——日本資本主義と肥料工業』
58	[2143]	20					清水幾太郎⇨大河内一男(共編)『学生と社会』
59	[2144]	31					川島武宜(著)『日本社会の家族的構成(改版)』……〔初版〕昭和23年5月学生書房刊
60	[2145]	31					渡辺義通⇨平野義太郎⇨大塚久雄(共編)『社会構成史体系(第八回配本)』……古島敏雄(著)『近世における商業的農業の展開』周藤吉之(著)『宋代官僚制と大土地所有』岩村三千夫(著)『民国革命』カール・マルクス(著)・フリードリッヒ・エンゲルス(編)・長谷部文雄(訳)『資本論・経済学批判(第三部第四分冊)〔資本論11〕』
61	[2146]	31					日本気象学会(編)『理化学年表』
62	[2147]	31					清水幾太郎⇨大河内一男(共編)『学生と読書』
63	[2148]	31					島恭彦(著)『(京大大学経済学会研究叢書・第六輯)日本資本主義と国有鉄道』(A・B:8月)
64	[2149]	1	9				河合栄治郎(著)『河合栄治郎選集・第一〇巻) 独逸社会民主党史論』
65	[2150]	10					『法律学体系第二部法理学論篇(第三回配本)』……杉浦健一(著)『未開社会における法』伊藤正己(著)『英米法における「法の支配」』鵜飼信成(著)『行政機構における委員会制』小町谷操三(著)『海上売買法の発展』
67	[2152]	25					マリイ・ノイラート(著)・林雄次郎⇨吉田悟郎(翻訳解説)『科学の絵本1)ものの中がみえたら』
68	[2153]	25					マリイ・ノイラート(著)・林雄次郎⇨吉田悟郎(翻訳解説)『科学の絵本2)それはいったいなぜでしょう』
69	[2154]	30					『法律学体系第一部コンメンタール篇(第三回配本)』……滝川幸辰⇨宮内裕⇨滝川春雄(著)『刑法(コンメンタール篇9)』

70	[2155]	C・(D)	30	「法律学体系第二部法理学論篇(第四回配本)……石井良助(著)「長子相続制」／戒能通孝(著)「著作権」／松岡三郎(著)「公務員の労働法上の地位」
71	[2156]	C・(D)	10・15	日本評論社編集局(編)「日本の法学——回顧と展望」
72	[2157]	C・(D)	15	思想の科学研究会(編)・都留重人(監修)「アメリカ思想史(第二卷)」
73	[2158]	C・(D)	15	小林昇(著)「フリードリッヒ・リスト研究」
74	[2159]	C・N	15	一橋大学東京商科大学一橋学会(編)「一橋大学創立七十五周年記念論集」(A・B・なし)
75	[2160]	C・(D)	20	忠佐市(著)「租税法要論」
76	[2161]	C・(D)	20	マーシャル(著)・戸田正雄(訳)「経済学入門」……〔旧版〕昭和16年〔510〕
77	[2162]	C・(D)	25	川島武宜⇨渡辺洋三(著)「土建請負契約論」
78	[2163]	C・(D)	25	デミング(述)・増山元三郎⇨斉藤金一郎(共訳)「抽出調査の話」
79	[2164]	C・N	30	アインシュタイン(著)・中村誠太郎(訳者代表)「晩年に想う」
80	[2165]	C・(D)	31	「法律学体系第二部法理学論篇(第五回配本)……浅井清信(著)「雇傭」／三藤正(著)「商人」
81	[2166]	C・(D)	31	／野村平爾(著)「経営協議会」／熊倉武(著)「軽犯罪」
82	[2167]	C・(D)	31	平瀬巳之吉(著)「古典経済学の解体と発展——ロッドベルトウス批判」(A・B・11月)
83	[2168]	C・(D)	11・7	ランスロット・ホグベン(監修)・オットー・ノイラート⇨マリイ・ノイラート⇨J・A・ロウエリイズ(共著)・上原専祿⇨村川堅太郎⇨江口朴郎(日本版監修)「科学の絵本3」絵とき人類史—大昔の生活」
84	[2169]	C・(D)	15	畑中政春⇨吉良勝共(著)「ソヴェトの労働——社会主義国家における法と実態」
85	[2170]	C・(D)	15	平野義太郎⇨戒能通孝⇨川島武宜(編)「末弘(巖太郎)博士還暦記念論文集 団結権の研究」
86	[2171]	C・(D)	20	東京銀行調査部(編)「貿易為替用語辞典」
87	[2172]	C・(D)	25	岸本英太郎(著)「社会政策論の根本問題」(A・B・12月)
88	[2173]	C・N	30	オーエン・ラティモア(著)・小川修(訳)「アジアの情勢」(A・B・12月)
89	[2174]	C・(D)	12・5	鈴木梅太郎(著)「ビタミン(全訂)……〔初版〕昭和13年〔282〕〔改訂〕昭和15年〔436〕〔改訂〕昭和18年8月
90	[2175]	C・(D)	5	「法律学体系第一部コンメンタール篇(第四回配本)……滝川幸辰⇨平場安治⇨中武靖夫(共著)「刑事訴訟法(コンメンタール篇10)」
91	[2176]	C・(D)	10	佐藤信衛(著)「考・卷二(科学の方法と分類)」
92	[2177]	C・(D)	10	小場瀬卓三(著)「新文化叢書11」先駆者たち——デイドロと百科全書」(A・B・昭和26年1月)
93	[2178]	C・(D)	15	チャールズ・F・パウンド(著)「アメリカ出版業の現状」(A・なし)

1	37		32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
[2217]	昭和27年（一九五二年）		[2216]	[2215]	[2214]	[2213]	[2212]	[2211]	[2210]	[2209]	[2208]	[2207]	[2206]	[2205]	[2204]	[2203]	[2202]	[2201]	[2200]	[2199]
				11・1		8・31								5・15			4・15			
				C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・N	C・(D)	C・N	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・N	C・(D)	C・(D)
		3・30										6・10	25	15	30	25			31	30

平沢清人（著）『近世南信濃農村の研究』（A・B…4月）
 リチャード・ジョーンズ（著）大野精三郎（訳）『政治経済学講義』
 日本法社会学会（編）『法社会学』一号
 ジョージ・ガモフ（著）野上茂吉郎（訳）『原子力の話・星の進化と人生に対するその意義——放射能の五〇年』
 根岸信（著）『上海のギルド』
 『法律学体系第二部法学理論篇（第九回配本）』……佐藤功（著）『行政組織』／杉田揚太郎（著）『日本農業立法史』／大津正雄（著）『矯正保護』
 東京大学社会科学研究所（編）『行政委員会——理論・歴史・実態』
 本位田祥男（著）『西洋経済史』
 『法律学体系第一部コンメンタール篇（第五回配本）』……我妻栄Ⅱ有泉亨（著）『債権法（コンメンタール篇3民法1）』
 山口清三郎（編集代表）『目で見る世界史』地球と人類が生れるまで』
 ポール・M・スウィージー（著）中村金治（訳）『資本主義発展の理論』（A・B…7月）
 小林多喜二全集刊行会（著）新日本文学会（編）『小林多喜二全集・第八卷』
 『法律学体系第一部コンメンタール篇（第六回配本）』……吾妻光俊（著）『労働基準法（コンメンタール篇21）』
 『法律学体系第二部法学理論篇（第一〇回配本）』……小町谷操三（著）『日本運送取扱業の法的考察』／山中康雄（著）『労働争議』／平野龍一（著）『死刑』
 『法律学体系第一部コンメンタール篇（第七回配本）』……青木義人（著）『戸籍法（コンメンタール篇18）』
 『法律学体系第二部法学理論篇（第一一回配本）』……仁井田陞（著）『中国の法思想史——東洋的自然法の問題』／山中康雄（著）『占有の理論』／戒能通孝（著）『証拠と弁論——法廷技術の実践事例』末川博（編）『法学辞典（上製）』……〔新訂〕昭和31年、〔全訂〕昭和46年、〔全訂増補版〕昭和49年
 『法律学体系第二部法学理論篇（第一二回配本）』……嶺山政道（著）『近代官吏制度の発達——比較制度的研究』／西村信雄（著）『保証——とくに身元保証について』／井上正治（著）『経済刑法——刑法における道義性とは何か』

『法律学体系第二部法学理論篇（第一三回配本）』……平野義太郎（著）『第二次大戦後の憲法』／中村哲（著）『主権——国内法上の概念としての』／石井良助（著）『刑罰の歴史——日本』

2	[2218]	5・15	C・(D)	『法律学体系第二部法學理論篇(第一四回配本)』……長谷川正安(著)「フランス憲法の発展と特質」—アンシャン・レヂームと憲法」／上杉捨彦(著)「国際労働法史」／田畑茂二郎(著)「人権と国際法」
* 昭和27年5月22日「新社」設立登記				
3	[2219]	5・30	C・N	シユムベーター(著)・中山伊知郎(監修)『十大経済学者——マルクスからケインズまで』
4	[2220]	6・20	C・N	小樽商科大学経済研究所(編)「商学討究」三卷一号……〔発行〕三卷一号(昭和27年6月)〈二四卷四号(昭和49年3月)〉
5	[2221]	30	C・(D)	『法律学体系第二部法學理論篇(第一五回配本)』……浅井清信(著)「危険負担論——その基本的考察と労働契約への展開」／小野清一郎(著)「名誉と法律」／有泉亨(著)「レイバー・インジャンクション」／吉川大二郎(著)「労働事件と仮処分」
6	[2222]	9・5	C・(D)	『法律学体系第二部法學理論篇(第一六回配本)』……青山道夫(著)「養子」／村松常雄(著)「犯罪心理」／早川武夫(著)「裁判所規則制定権の歴史」
7	[2223]	10	C・(D)	『法律学体系第三部法律講話篇(第三回配本)』……戒能通孝(著)「法律講話」
8	[2224]	30	C・(D)	『法律学体系第二部法學理論篇(第一七回配本)』……杉田揚太郎(著)「日本金融立法史(一)」／滝川春雄(著)「罪刑法定主義」／小川太郎(著)「保安処分」
9	[2225]	30	C・N	末弘巖太郎(著)「末弘巖太郎著作集」／法学入門」
10	[2226]	10・30	C・N	大河内一男(著)「社会政策の経済理論(続・社会政策の基本問題)」
11	[2227]	30	C	森田優三(著)「統計概論」……〔初版〕昭和七年一月(産業図書)
12	[2228]	11・25	C・(D)	『法律学体系第二部法學理論篇(第一八回配本)』……伊藤正己(著)「司法権の優越」／杉田揚太郎(著)「日本金融立法史(二・完)」／三宅正男(著)「就業規則」
13	[2229]	12・25	C・(D)	『法律学体系第一部コンメンタール篇(第八回配本)』……我妻栄(著)立石芳枝(共著)「親族法・相続法(コンメンタール篇4民法三)」